

北陸圏広域地方計画の推進について  
令和5年度の取組み

令和8年3月  
北陸圏広域地方計画協議会



# 目 次

1. 概要・あらまし .....	1
1.1 北陸圏広域地方計画について .....	1
1.1.1 計画の概念 .....	1
1.1.2 計画の概要 .....	2
2. 北陸圏広域地方計画の推進状況について .....	23
2.1 計画の進捗管理【プロジェクトの推進】 .....	23
2.1.1 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト .....	23
2.1.2 いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト .....	37
2.1.3 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト .....	42
2.1.4 北陸の多彩な自然環境保全プロジェクト .....	48
2.1.5 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト .....	55
2.1.6 東アジアに展開する日本海中枢圏域形成プロジェクト .....	59
2.1.7 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト .....	64
2.1.8 強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制の構築プロジェクト .....	69
2.1.9 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト .....	75

# 1. 概要・あらし

## 1.1 北陸圏広域地方計画について

### 1.1.1 計画の概念

北陸圏広域地方計画は、国土形成計画法第9条に基づき、全国レベルの「国土形成計画」を踏まえ各地方ブロックごとに方針・目標・施策を定めるもので、北陸圏の2050年頃までを展望しつつ、今後概ね10ヶ年間の国土形成に係る基本的な計画である。

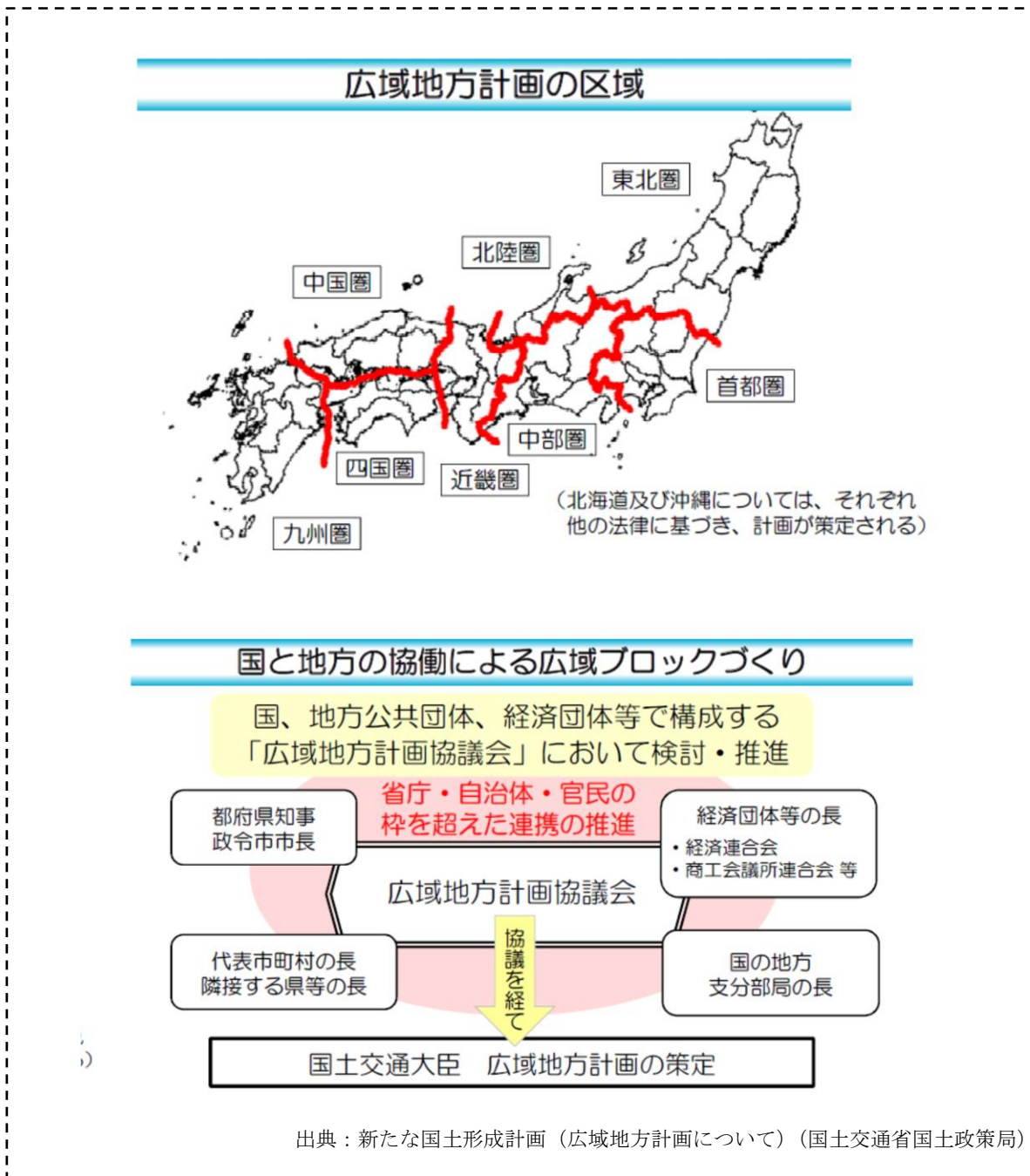


図 1 広域地方計画の概要

## 1.1.2 計画の概要

### (1) 北陸圏の現状

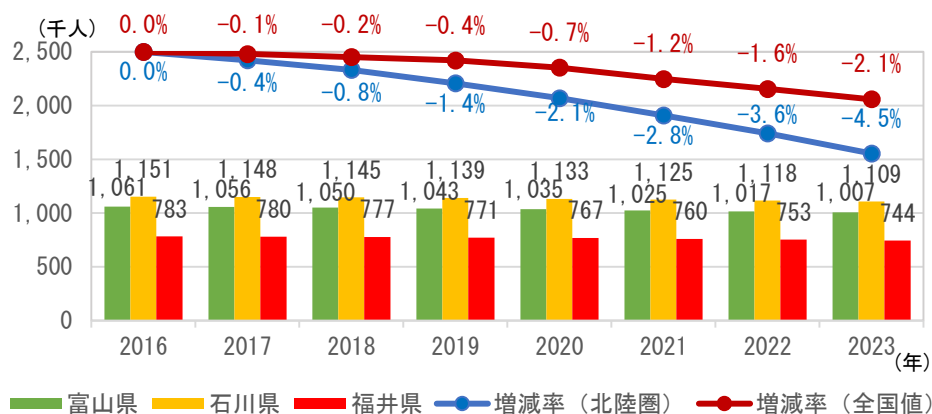
北陸圏を取り巻く現状を、人口、域内総生産、海上出入貨物量、延べ宿泊者数等を用いて整理し、全国における北陸圏の位置づけを把握する。

なお、統計データは2022年8月末時点の公表データを用いている。

#### 1) 人口動態

##### ① 人口、人口増減

北陸圏の2023年(令和5年)における人口は、2016年(平成28年)と比較すると4.5%減少しており、全国値(2.1%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



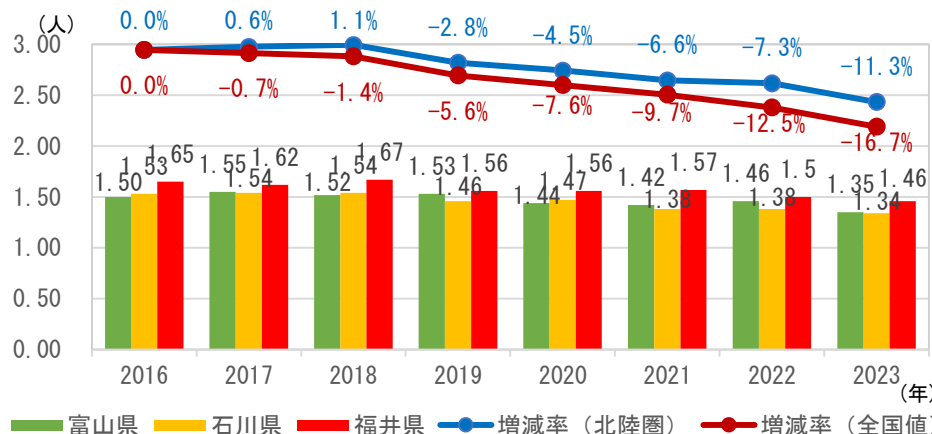
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：総務省「人口推計」 総人口(男女計)各年10月1日現在

図2 北陸圏 人口、人口前年増減の推移

##### ② 合計特殊出生率

北陸圏の2023年(令和5年)における合計特殊出生率は、2016年(平成28年)と比較すると11.3%減少しており、全国と同様に年々減少している傾向にある。



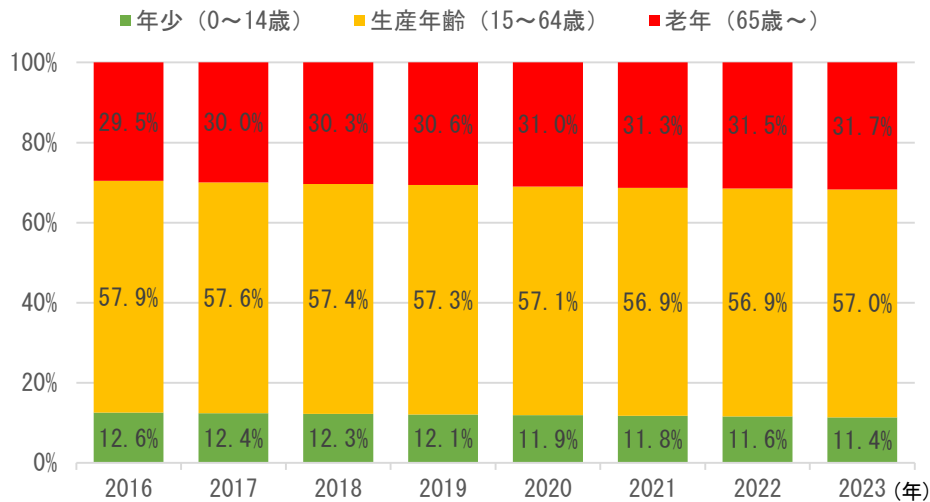
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「人口動態統計」

図3 北陸圏 合計特殊出生率の推移

### ③ 総人口に占める年少人口、生産年齢人口、高齢者人口の割合

2023年(令和5年)の年少人口、生産年齢人口、高齢者人口の割合は、それぞれ11.4%、57.0%、31.7%であり、2022年(令和4年)と比較すると、高齢者人口が0.2ポイント、生産年齢人口が0.1ポイント増加した一方で、年少人口は0.2ポイント減少している。



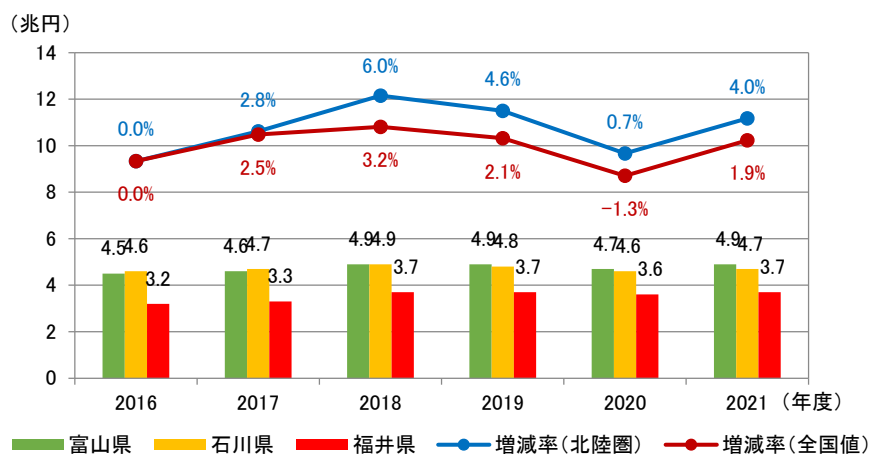
出典：総務省「人口推計」 各年10月1日現在の人口

図4 北陸圏 総人口に占める年少人口、生産年齢人口、高齢者人口の割合の推移

## 2) 経済・産業

### ① 域内総生産(名目)

北陸圏の2021年度(令和3年度)における域内総生産(名目)は、2016年度(平成28年度)と比較すると4.0%増加している。



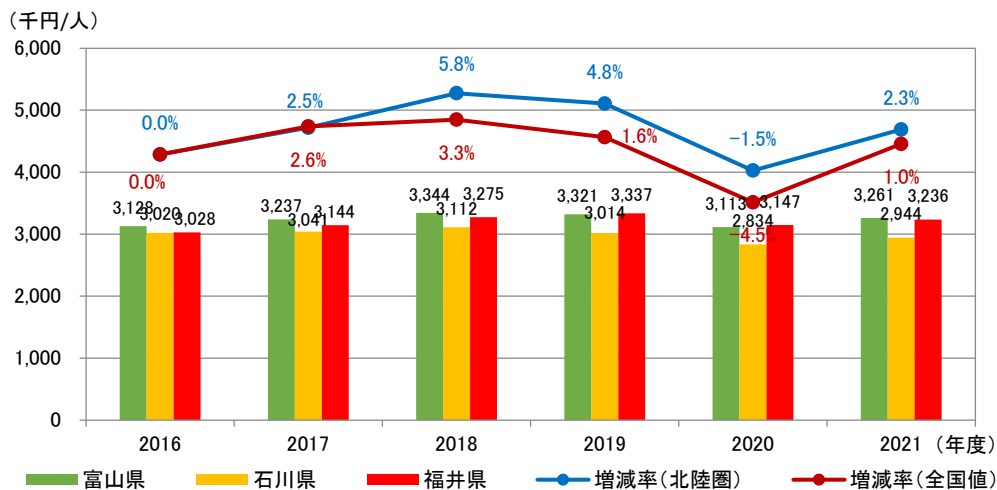
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：内閣府「県民経済計算」

図5 北陸圏 域内総生産(名目)の推移

## ② 人口1人あたり県民所得

北陸圏の2021年度(令和3年度)における人口1人あたり県民所得は、2016年度(平成28年度)と比較すると2.3%増加しており、全国値(1.0%増加)よりも増加している割合が高くなっている。



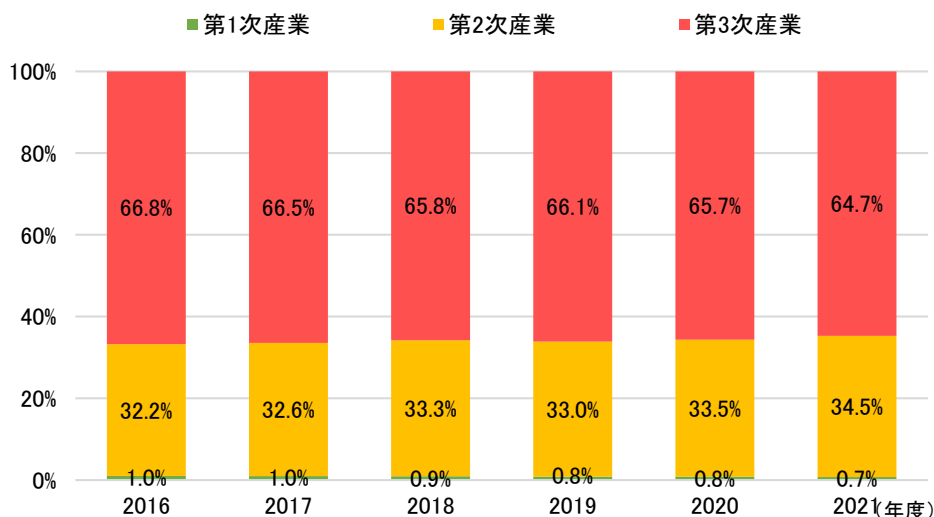
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：内閣府「県民経済計算」、総務省「人口推計」

図6 北陸圏 人口1人あたり県民所得の推移

## ③ 経済活動別総生産の割合(第1次～第3次)

第1次、第2次、第3次産業の総生産割合は、2021年度(令和3年度)でそれぞれ0.7%、34.5%、64.7%であり、2016年度(平成28年度)比で第1次産業が0.1ポイント減少、第2次産業が1.0ポイント増加、第3次産業が1.0ポイント減少している。

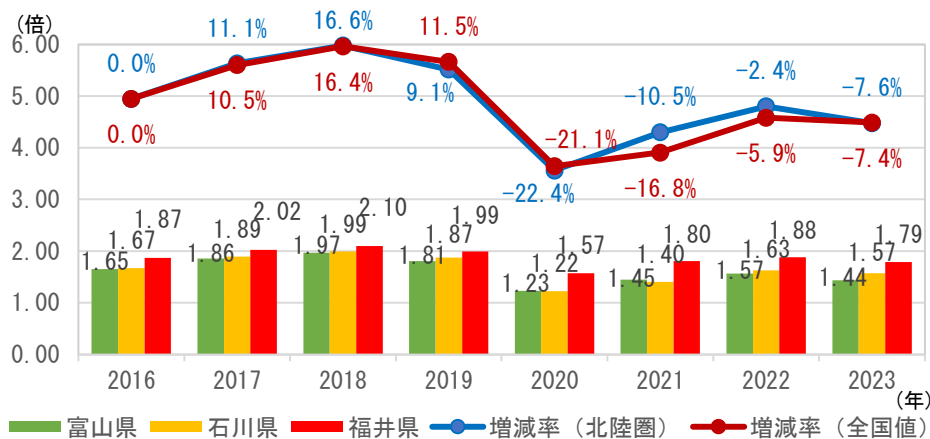


出典：内閣府「県民経済計算年報」

図7 北陸圏 経済活動別総生産の割合(第1次～第3次)の推移

#### ④ 有効求人倍率

北陸圏の2023年(令和5年)の有効求人倍率は、コロナ禍前の2016年(平成28年)と比較すると7.6%減少となり、全国値(7.4%減少)のコロナ禍前における有効求人倍率の水準と同程度まで回復してきている。



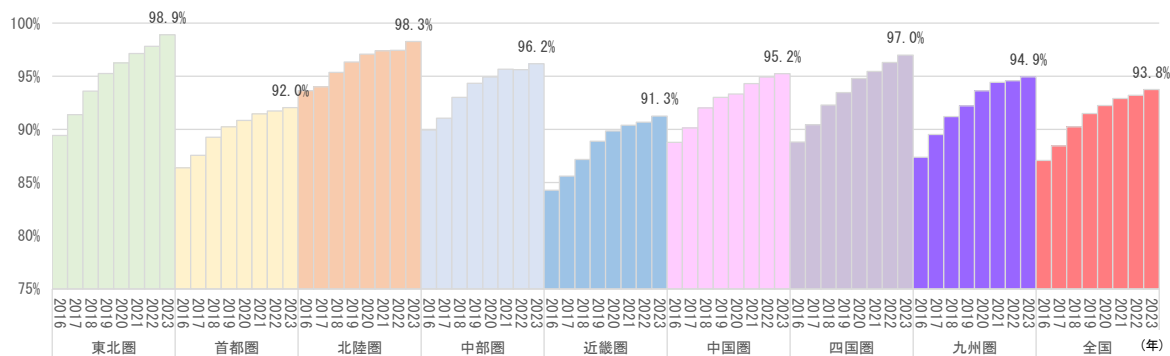
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

図8 北陸圏 有効求人倍率の推移

#### ⑤ 生産年齢人口あたり労働力人口の割合(圏域別)

北陸圏では、2023年(令和5年)で98.3%となり、全国平均(93.8%)より4.5ポイント高い割合となっている。

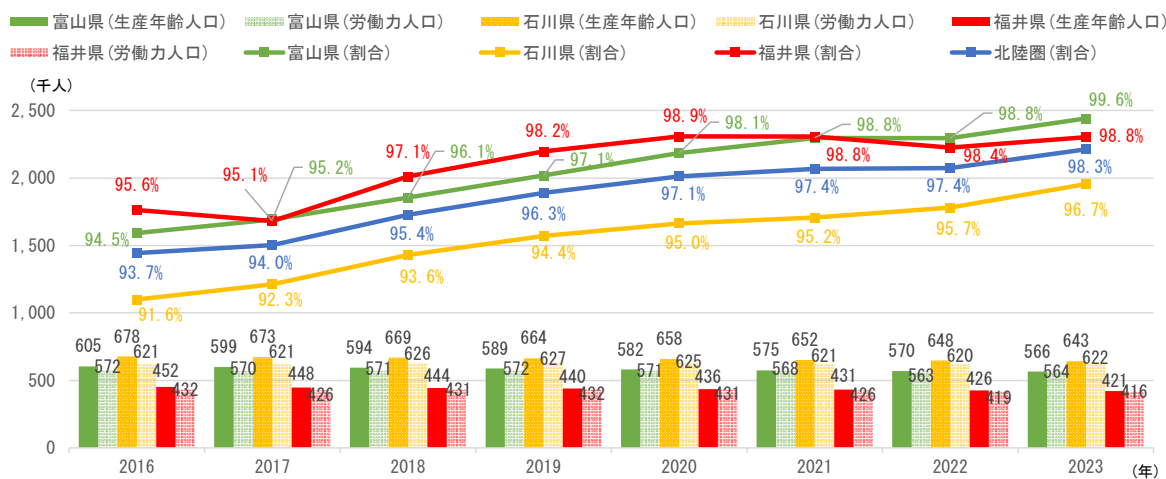


出典：総務省「労働力調査」、総務省「人口推計」

図9 生産年齢人口あたり労働力人口の割合の推移(圏域別)

### ⑥ 生産年齢人口あたり労働力人口の割合（北陸圏）

北陸圏の各県では、2023年(令和5年)において生産年齢人口及び労働力人口が最も多い県は、石川県(643千人、622千人)となっている。一方、生産年齢人口に占める労働力人口の割合は富山県(99.6%)が最も高くなっている。



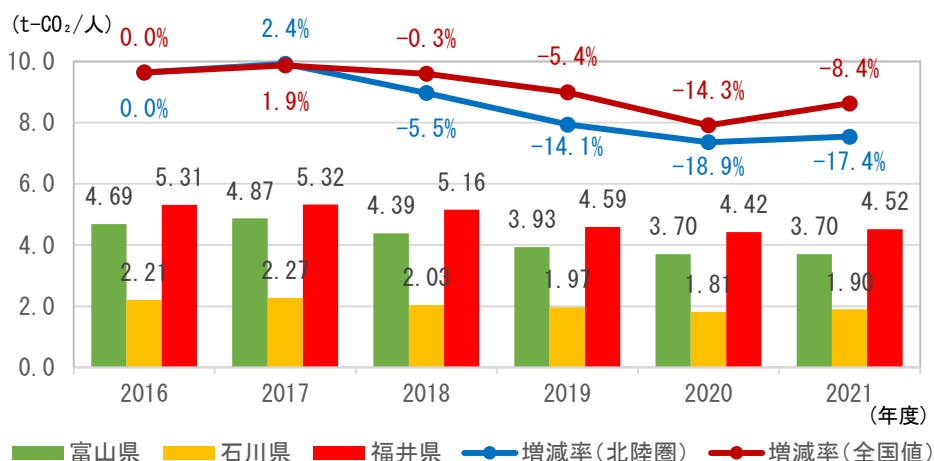
出典：総務省「労働力調査」、総務省「人口推計」

図 10 生産年齢人口及び労働力人口とその割合の推移（北陸圏）

### 3) 環境

#### ① 人口1人あたり温室効果ガス算定排出量（特定事業者）

北陸圏の2021年度(令和3年度)における人口1人あたり温室効果ガス算定排出量(特定事業者)は、2016年度(平成28年度)と比較すると17.4%減少しており、全国値(8.4%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



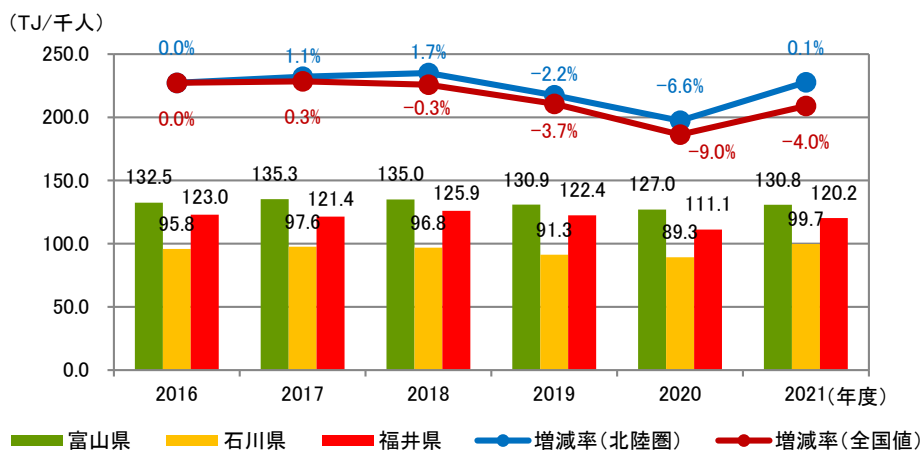
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：環境省「温室効果ガス排出量の集計結果」、総務省「人口推計」

図 11 北陸圏 人口1人あたり温室効果ガス算定排出量（特定事業者）の推移

## ② 人口千人あたりエネルギー消費量

北陸圏の2021年度(令和3年度)における人口千人あたりエネルギー消費量は、2016年度(平成28年度)と比較すると0.1%増加しており、一方全国値は4.0%減少している。



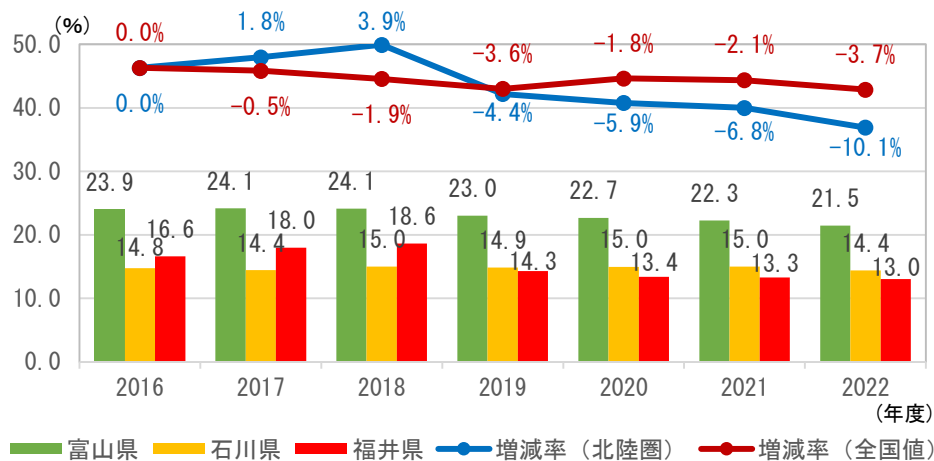
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計」(2021年度は暫定値)、総務省「人口推計」

図12 北陸圏 人口千人あたりエネルギー消費量の推移

## ③ リサイクル率

北陸圏の2022年度(令和4年度)におけるリサイクル率は、2016年度(平成28年度)と比較すると10.1%減少しており、全国値(3.7%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

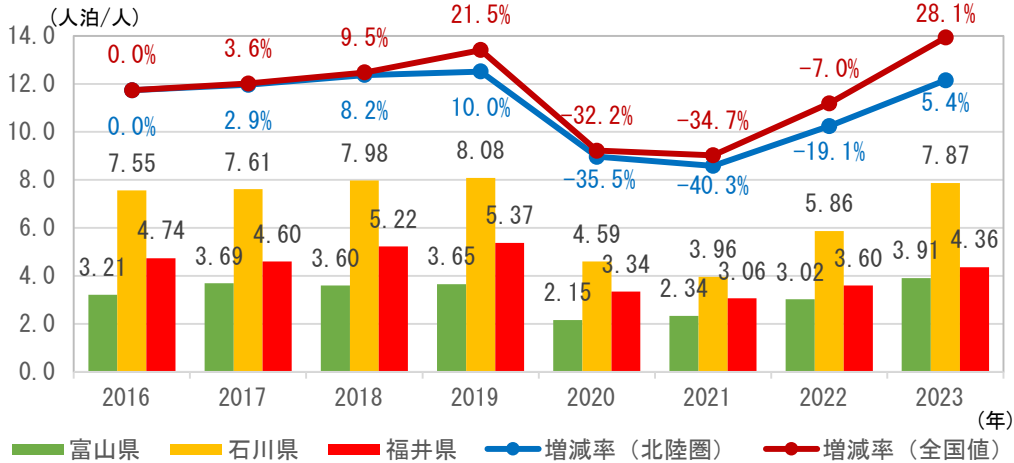
出典：環境省「一般廃棄物処理実態調査」

図13 北陸圏 リサイクル率の推移

#### 4) 観光・歴史文化

##### ① 人口1人あたり延べ宿泊者数

北陸圏の2019年(令和元年)における人口1人あたり延べ宿泊者数は、2016年(平成28年)と比較して10.0%増加している。しかし、2020年(令和2年)以降、最大40.0%程度減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるものと考えられる。2023年(令和5年)は、2022年(令和4年)と比較して増加し、コロナ禍前に近い水準に戻っている。

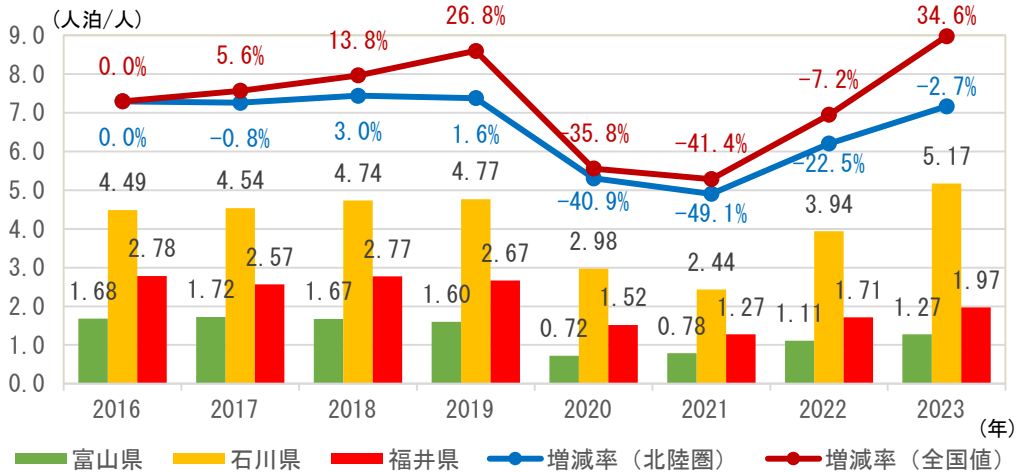


※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

図14 北陸圏 人口1人あたり延べ宿泊者数の推移

##### 【参考】人口1人あたり延べ観光宿泊者数



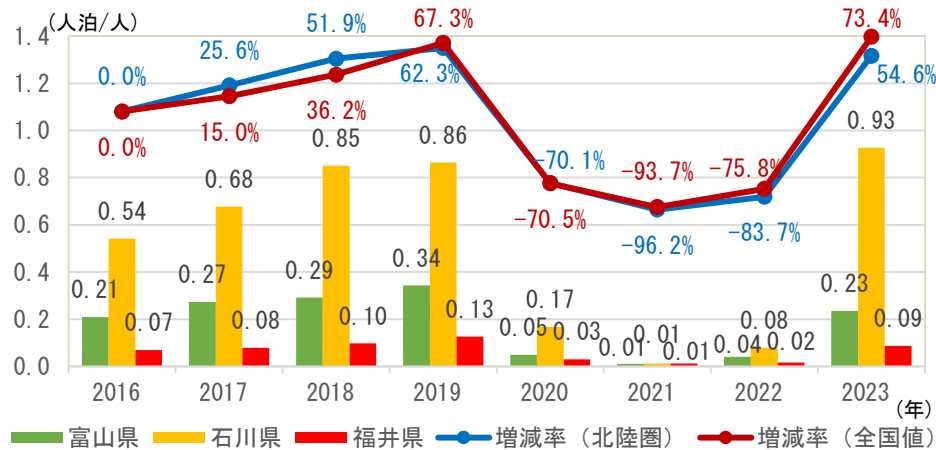
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

図15 北陸圏 人口1人あたり延べ観光宿泊者数の推移

## ② 人口1人あたり外国人延べ宿泊者数

北陸圏の2019年(令和元年)における人口1人あたり外国人延べ宿泊者数は、2016年(平成28年)と比較して62.3%増加している。2020年(令和元年)以降、新型コロナウイルス感染症拡大により70.0%以上減少したが、2023年(令和5年)にはそれ以前の水準に回復している。



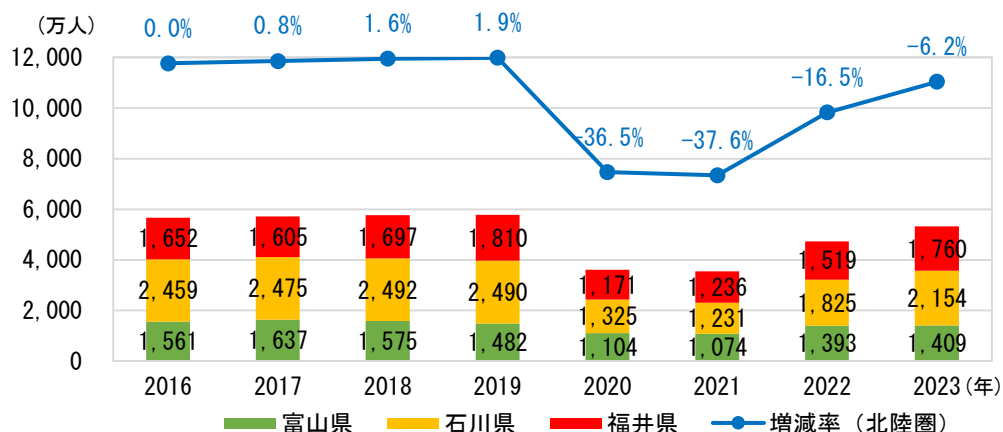
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

図16 北陸圏 人口1人あたり外国人延べ宿泊者数の推移

## ③ 観光入込客数

北陸圏の2019年(令和元年)における観光入込客数は、2016年(平成28年)と比較して1.9%増加している。しかし、2020年、2021年(令和2年、令和3年)は40.0%程度減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるものと考えられる。2023年(令和5年)は、2022年(令和4年)と比較して増加しているが、コロナ禍前の水準には戻っていない。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：富山県「富山県観光客入込数(推計)」

石川県「統計からみた石川県の観光」

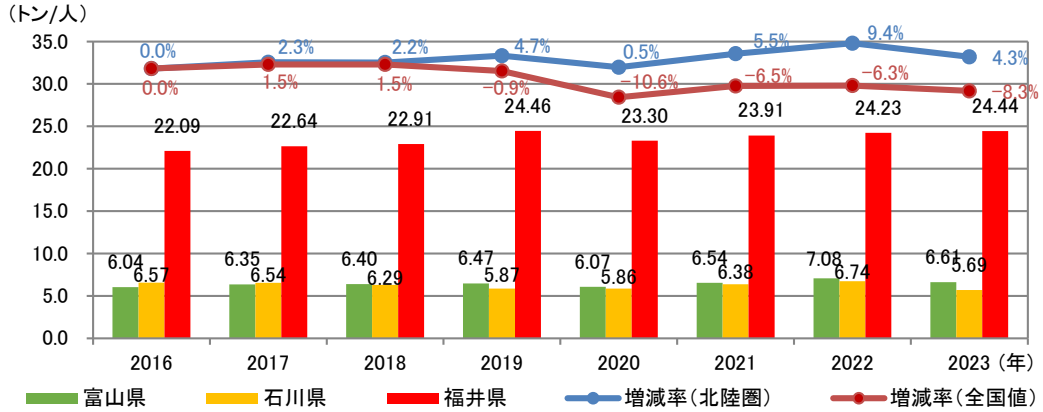
福井県「福井県観光客入込数(推計)」

図17 北陸圏 観光入込客数の推移

5) 物流・交流

① 人口1人あたり港湾の取扱貨物量

北陸圏の2023年(令和5年)における人口1人あたり港湾の取扱貨物量は、2016年度(平成28年度)と比較すると4.3%増加しており、全国値は2023年(令和5年)に8.3%減少している。



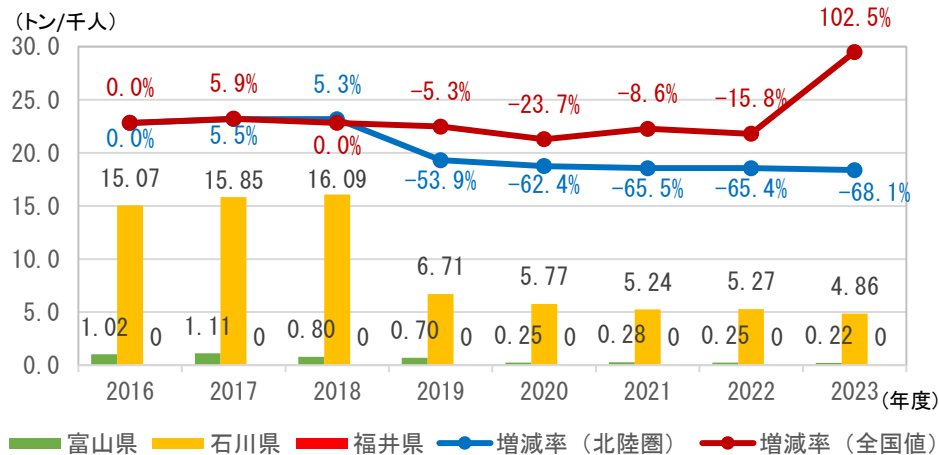
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：国土交通省「港湾統計」、総務省「人口推計」

図18 北陸圏 港湾の取扱貨物量(人口1人あたり港湾の取扱貨物量)の推移

② 人口千人あたり空港の貨物取扱量

北陸圏の人口千人あたり空港の貨物取扱量は、2019年度(令和元年度)以降は、2016年度(平成28年度)と比較して50.0%以上減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるものと考えられる。



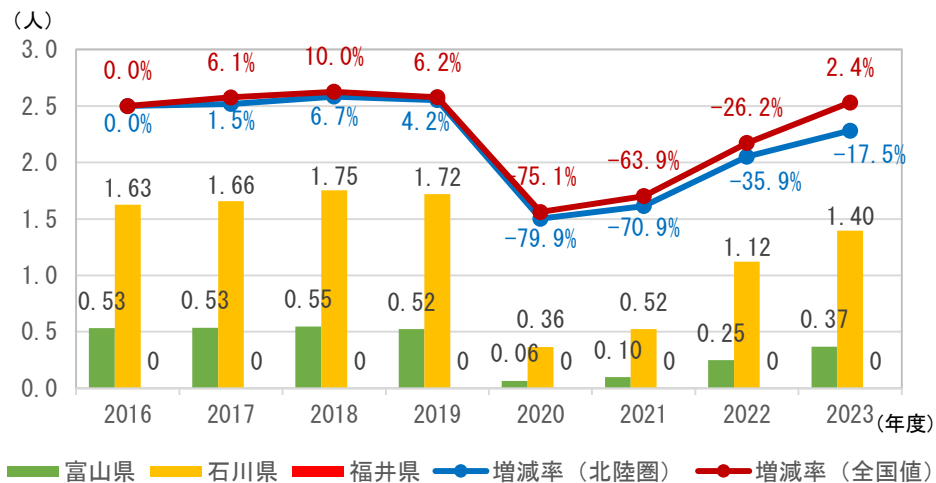
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：国土交通省「空港管理状況」、総務省「人口推計」

図19 北陸圏 人口千人あたり空港の貨物取扱量の推移

### ③ 人口1人あたり空港の乗降客数

北陸圏の人口1人あたり空港の乗降客数は、2020年度(令和2年度)は2016年度(平成28年度)と比較して79.9%減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響とみられる。北陸圏では2023年度(令和5年度)は2022年度(令和4年度)と比較すれば増加しているが、コロナ禍前の水準には戻っていない。



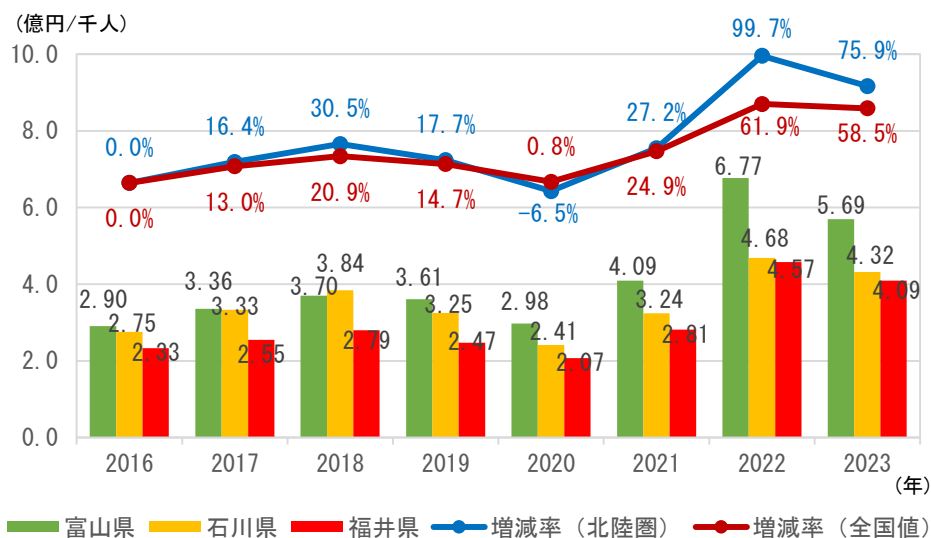
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：国土交通省「空港管理状況」、総務省「人口推計」

図 20 北陸圏 人口1人あたり空港の乗降客数の推移

### ④ 人口千人あたり貿易額

北陸圏の2023年(令和5年)における人口千人あたり貿易額は、2016年(平成28年)と比較すると75.9%増加しており、全国値(58.5%増加)よりも増加している割合が高くなっている。



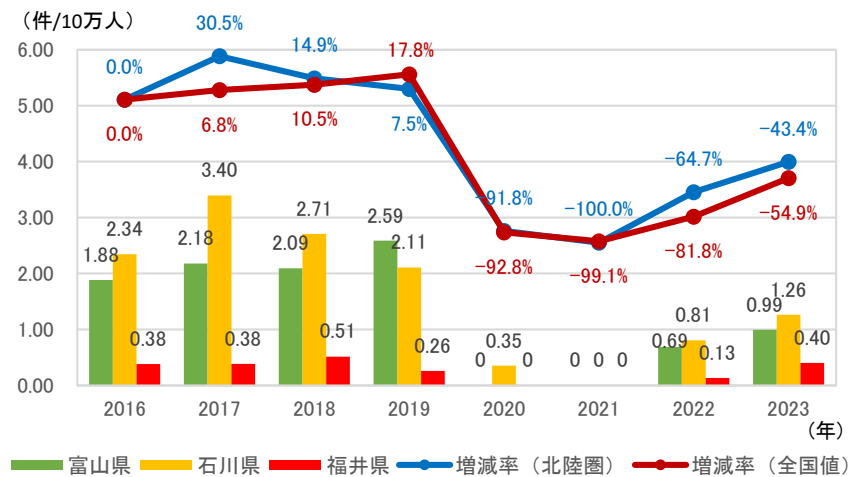
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：財務省「貿易統計」、総務省「人口推計」

図 21 北陸圏 人口千人あたり貿易額の推移

### ⑤ 人口 10 万人あたり国際コンベンション開催件数

北陸圏の人口 10 万人あたり国際コンベンション開催件数は、2020 年(令和 2 年)は 2016 年(平成 28 年)と比較して 91.8%減少しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響とみられる。2023 年(令和 5 年)は 2022 年(令和 4 年)と比較すれば増加しているが、コロナ禍前の水準には戻っていない。



※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

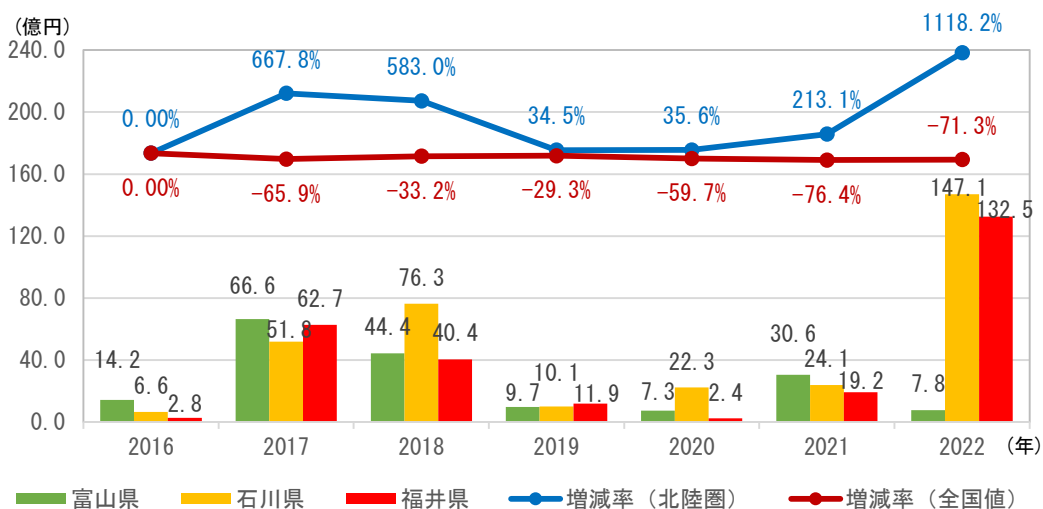
出典：日本政府観光局「国際会議統計」、総務省「人口推計」

図 22 北陸圏 人口 10 万人あたり国際コンベンション開催件数の推移

### 6) 防災・社会資本整備

#### ① 自然災害による被害総額

北陸圏の 2022 年(令和 4 年)における自然災害による被害総額は、約 287.4 億円(富山県:7.8 億円、石川県:147.1 億円、福井県:132.5 億円)となっている。



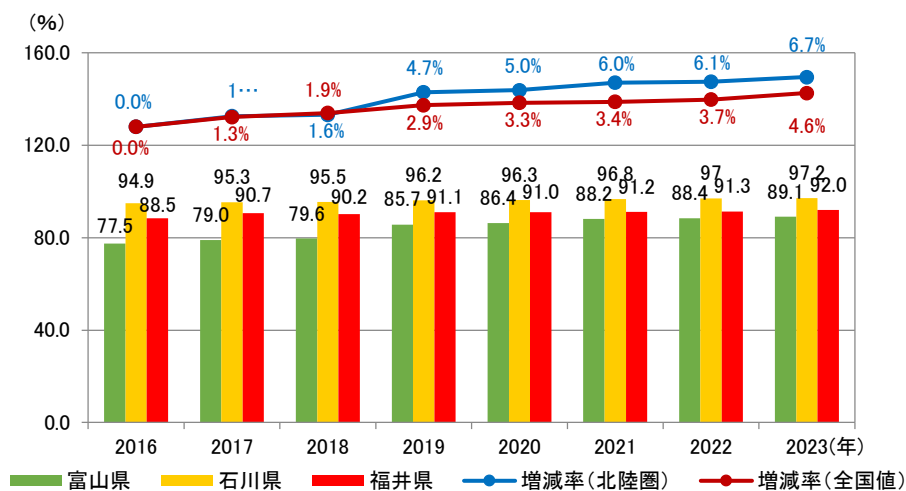
※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：消防庁「消防白書」

図 23 北陸圏 自然災害による被害総額の推移

## ② 自主防災組織活動カバー率

北陸圏の2023年(令和5年)における自主防災組織活動カバー率は、2016年(平成28年)と比較すると6.7%増加しており、全国値(4.6%増加)よりも増加している割合が高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

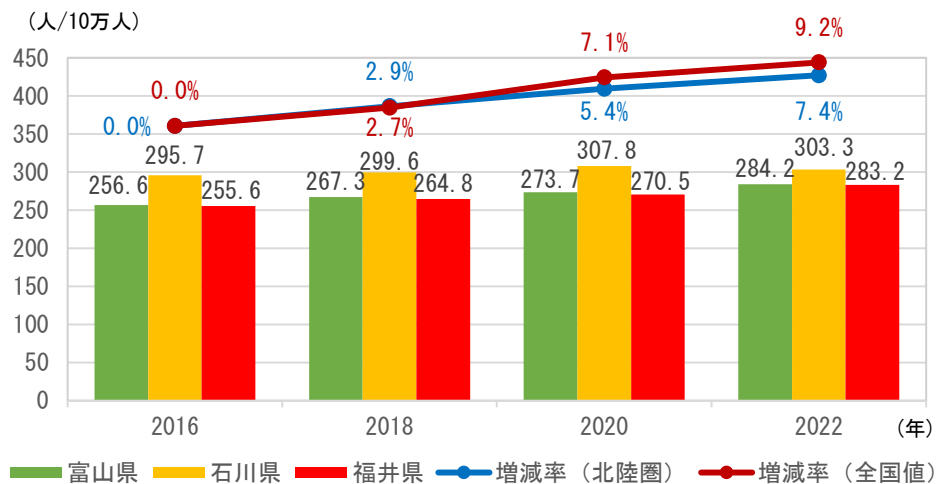
出典：消防庁「消防白書」

図 24 北陸圏 自主防災組織活動カバー率の推移

## 7) 医療福祉

### ① 人口10万人あたり医師数

北陸圏の2022年(令和4年)における人口10万人あたり医師数は、2020年(令和2年)と比較すると7.4%増加しており、全国値(9.2%増加)よりも増加している割合が低くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」、総務省「人口推計」

図 25 北陸圏 人口10万人あたり医師数の推移

## ② 人口 10 万人あたり一般病院数

北陸圏の 2023 年(令和 5 年)における人口 10 万人あたり一般病院数は、2016 年(平成 28 年)と比較すると 1.3%増加しており、一方、全国値は 2016 年(平成 28 年)と比較して 1.7%減少している。



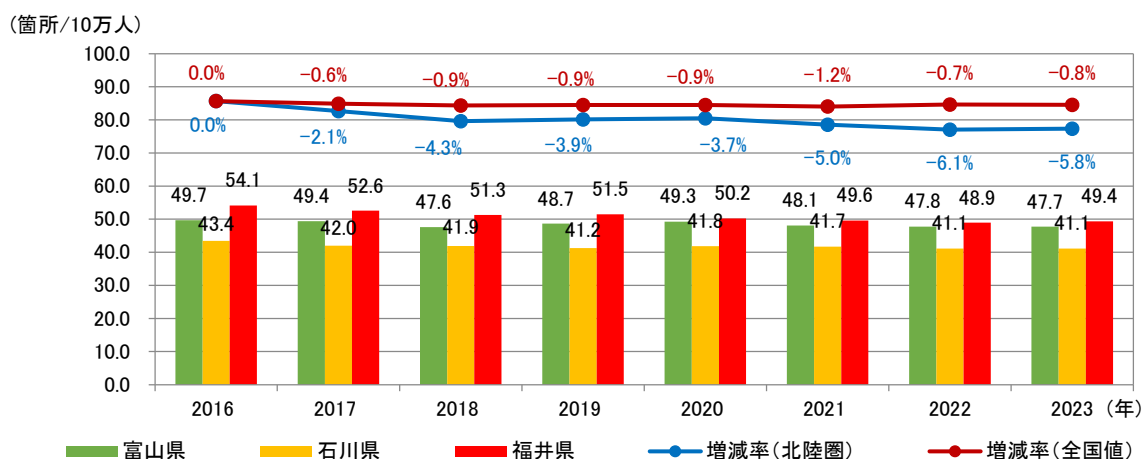
※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「医療施設調査」、総務省「人口推計」

図 26 北陸圏 人口 10 万人あたり一般病院数の推移

## ③ 高齢者(65 歳以上)人口 10 万人あたり介護施設数

北陸圏の 2023 年(令和 5 年)における高齢者(65 歳以上)人口 10 万人あたり介護施設数は、2016 年(平成 28 年)と比較すると 5.8%減少しており、全国値(0.8%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



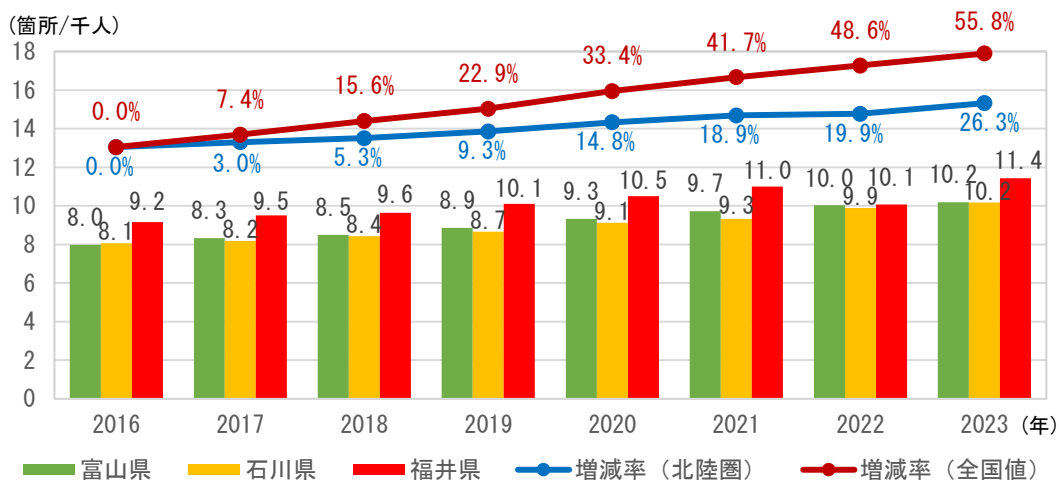
※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」、総務省「人口推計」

図 27 北陸圏 高齢者(65 歳以上)人口 10 万人あたり介護施設数の推移

#### ④ 5歳未満人口千人あたり保育所数

北陸圏の2023年(令和5年)における5歳未満人口千人あたり保育所数は、2016年(平成28年)と比較すると26.3%増加しており、全国値(55.8%増加)よりも増加している割合が低くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

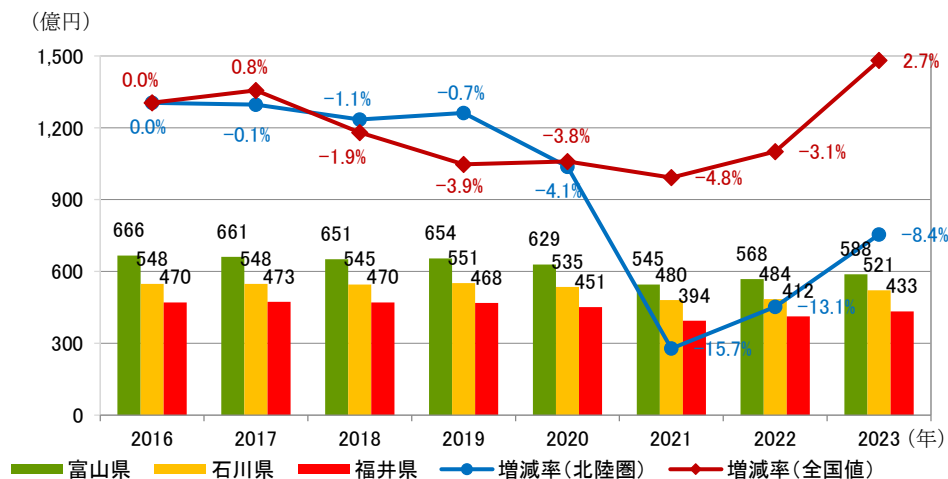
出典：厚生労働省「保育所関連状況取りまとめ」、総務省「人口推計」

図 28 北陸圏 5歳未満人口千人あたり保育所数の推移

#### 8) 農業・食料

##### ① 農業産出額

北陸圏の2023年(令和5年)における農業産出額は、2016年(平成28年)と比較すると8.4%減少しており、全国値(2.7%増加)とは反対に、減少傾向が続いている。



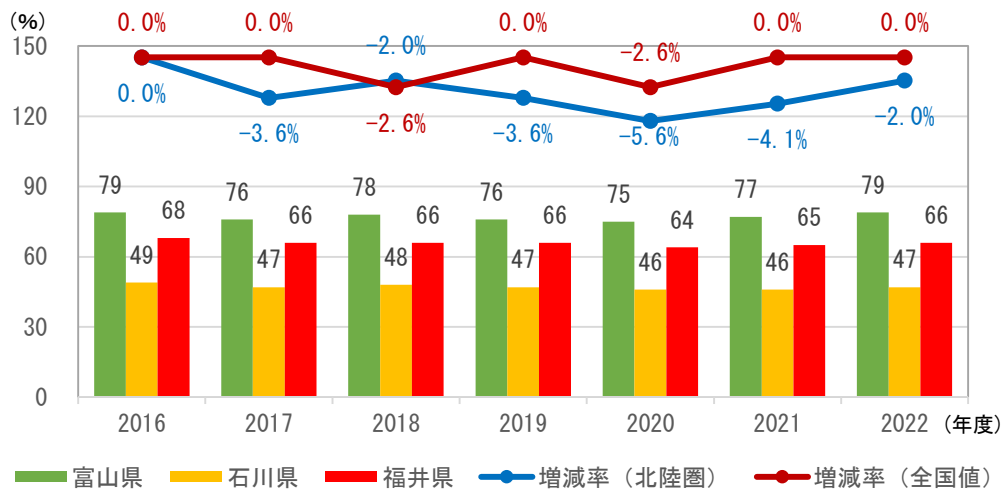
※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：農林水産省「生産農業所得統計」

図 29 北陸圏 農業産出額の推移

## ② 食料自給率（カロリーベース）

北陸圏の2022年度(令和4年度)における食料自給率(カロリーベース)は、2016年度(平成28年度)と比較すると2.0%減少しており、全国値(増減なし)よりも減少している割合が高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：農林水産省「都道府県別食料自給率の推移(カロリーベース)」※2022年度は概算値

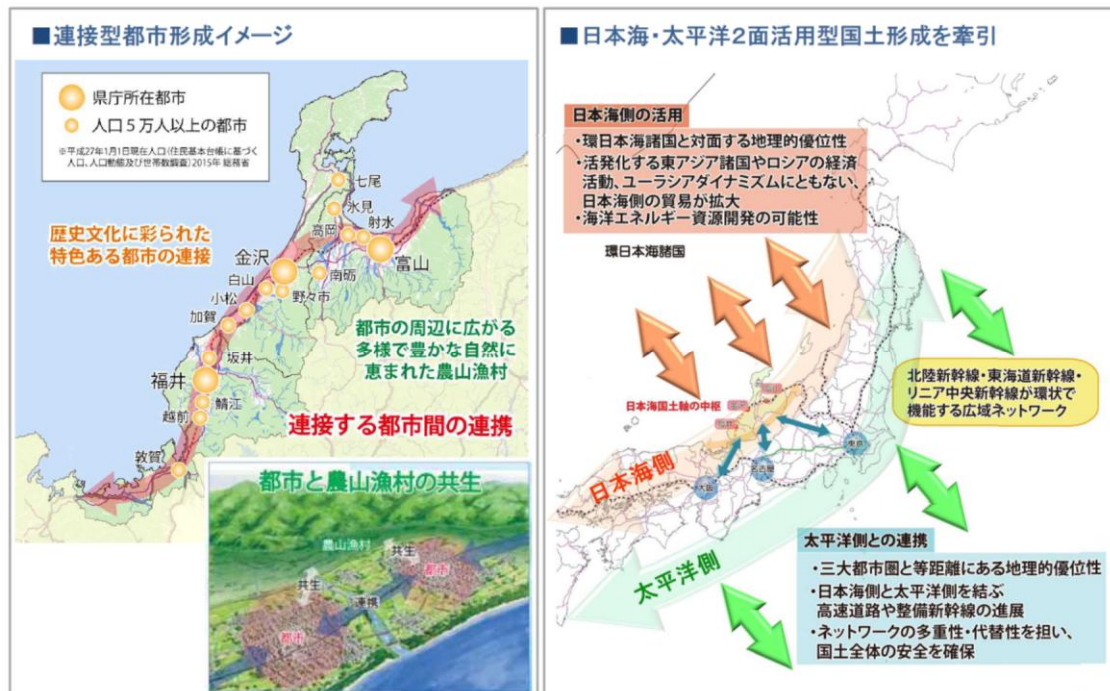
図 30 北陸圏 食料自給率(カロリーベース)の推移

## (2) 北陸圏の目指すべき将来像

北陸圏は、優れた地域資源を圏域内の連携により磨き上げることで、自立的な発展を図るだけでなく、立地特性を活かし、人口規模や面積等は小さいながらも、環日本海諸国を始めとする東アジアや国内外との対流・交流・連携を進めることにより、我が国の持続的な発展を先導する、日本海側における対流・交流の中核圏域としての役割を果たしていく。すなわち、北陸圏を「厳しくも豊かで多様な自然、魅力ある都市と農山漁村及び活力ある産業が共生した、圏域内の連携と国内外との対流・交流により我が国の持続的な発展を先導する、日本海国土軸の中核圏域」と位置付け、新しい国土像の構築に寄与していく。具体的には、以下に示す2つを将来像として掲げ、国、地方公共団体及び多様な民間主体が相互に連携し、特色ある地域の形成に向けた戦略を展開する。

<2つの将来像>

- (1) 暮らしやすさに磨きをかけ更に輝く新・北陸
- (2) 三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引する新・北陸



出典：新たな「北陸圏広域地方計画」説明資料（北陸圏広域地方計画推進室）

図 31 北陸圏の目指すべき将来像

### (3) 新しい将来像の実現に向けた目標・戦略

日本海国土軸の中核圏域を形成するための2つの将来像を効果的・戦略的に実現するため、国、地方公共団体、経済界等の多様な主体が協力・強調して北陸圏のポテンシャルを活かした施策や事業を展開できるよう、より具体的な目標・戦略を設定する。具体的には、2つの将来像に対して以下に示す4つの目標を整理し、その実現に向けた12の戦略を掲げている。

#### <4つの目標と12の戦略>

##### 【目標1】個性ある北陸圏の創生

戦略1：親との近居や地域コミュニティを維持するとともに、子育て支援や女性就業、生活サービス支援等誰もが暮らしやすい生活環境の充実

戦略2：本社・研究機能等も含めた働きやすく魅力ある雇用環境や高等教育環境の充実

戦略3：多様性と集約性のある都市サービス拠点のコンパクト化と交通ネットワーク充実による持続可能で多様な居住選択機会の提供及び人口誘致

戦略4：風水害・土砂災害等のほか、地震・津波も含めた更なる災害リスク低減に向けたソフト・ハード一体の防災・減災対策の強化や居住環境の充実

戦略5：豊かな自然環境の保全と地球環境問題への対応

##### 【目標2】競争力のある産業の育成

戦略6：集積する同業種・異業種や高等教育機関の接続都市間での対流と交通・ICTネットワーク環境の充実

戦略7：太平洋側及び海外企業等の製造拠点・本社・研究開発・研修機能の誘致推進に向けた支援施策や環日本海諸国等海外や国内他地域との経済連携・立地ニーズに応えるPR強化

戦略8：圏域の食料供給力と地域ブランド力の更なる強化

##### 【目標3】日本海側の中核圏域の形成

戦略9：市場となる大都市圏との取引や物流等を支える、更なる時間距離の短縮や生産拠点等誘致に向けた信頼性の高い国際物流・旅客機能の強化

戦略10：太平洋側の防災面に加え産業等機能においても代替性を発揮する防災・産業拠点及びネットワークの強化

##### 【目標4】対流・交流人口の創出

戦略11：多様な産業、歴史・景観・食文化等に彩られた地域資源の磨き上げと北陸圏内観光周遊ルートの充実

戦略12：北陸新幹線の開業、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、さらにはリニア中央新幹線の開業を見据えた首都圏や欧米豪、アジアの新興国等の国内外観光客誘客促進と魅力の発信

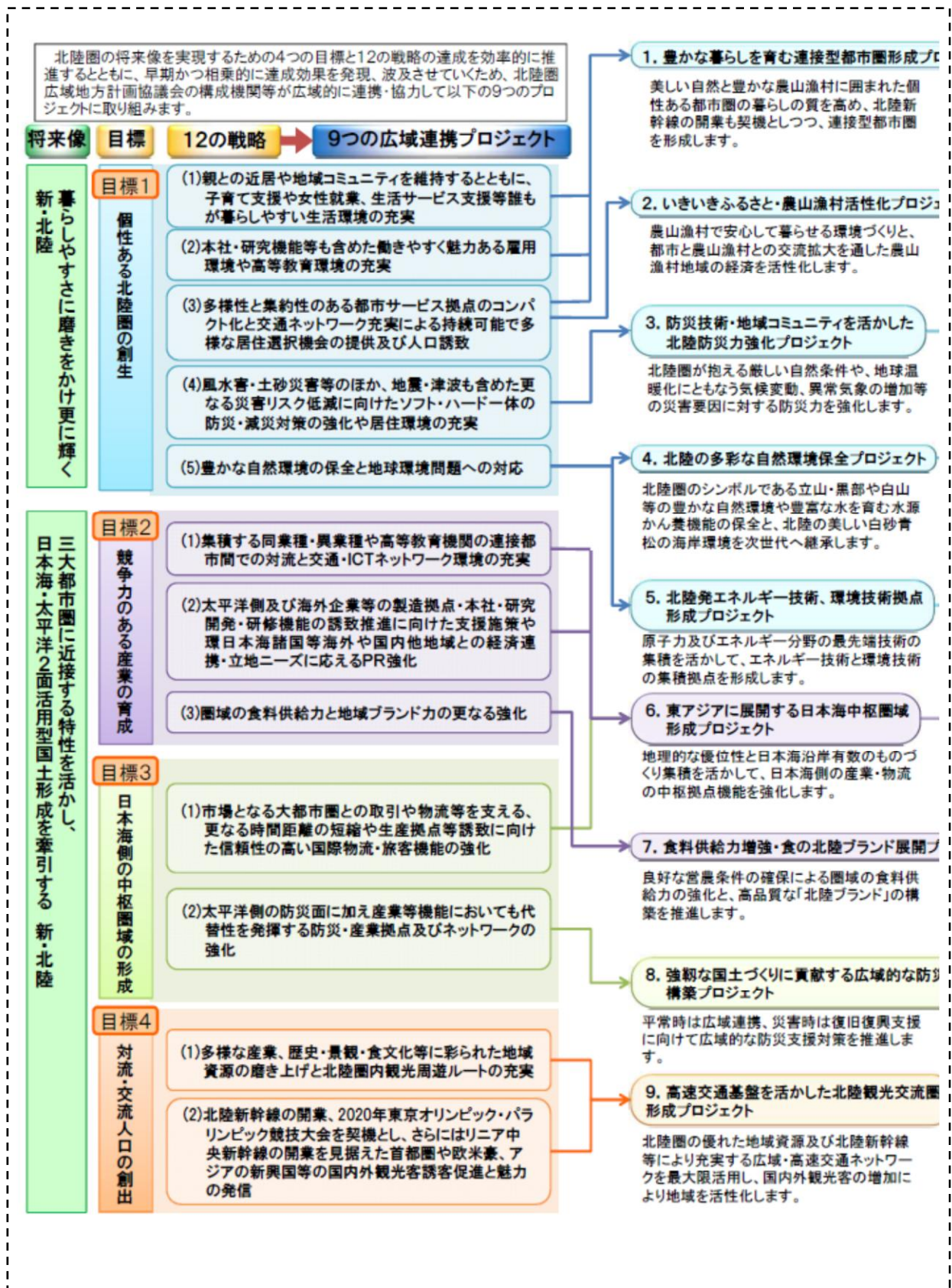
#### (4) 広域連携プロジェクト

将来像の実現に向けた4つの目標と12の戦略の達成を効率的に推進するとともに、早期かつ相乗的に効果を発現、波及させていくため、北陸圏広域地方計画協議会の構成機関等が広域的に連携・協力して以下に示す9つの広域連携プロジェクトに取り組むこととしている。

##### <9つの広域連携プロジェクト>

- PJ1：豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト
- PJ2：いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト
- PJ3：防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト
- PJ4：北陸の多彩な自然環境保全プロジェクト
- PJ5：北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト
- PJ6：東アジアに展開する日本海中枢圏域形成プロジェクト
- PJ7：食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト
- PJ8：強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制構築プロジェクト
- PJ9：高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト

(参考) 将来像・目標・戦略・プロジェクトの関連図



プロジェクト

◇住環境や子育て環境にも恵まれた個性的でコンパクトな都市圏の形成による暮らしの質の向上

▼富士市のコンパクトなまちづくりの推進

LRT等を公共交通軸(串)とし、その軸上に都市拠点(団子)を配置する都市構造の構築



【写真提供】富士市

◇個性ある都市圏の連携を強化するネットワークの形成  
◇公共施設の計画的な管理  
◇近接する都市圏相互の魅力を楽しむことのできる連接型都市圏の形成

プロジェクト

◇農山漁村の活性化

▼能登の里山里海

世界農業遺産認定(平成23年6月)をきっかけに能登半島全体の魅力発信の場としてポータルサイトを立ち上げ



【出典】世界農業遺産能登の里山里海ポータルサイト

◇都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化

▼農山漁業体験民宿を核とした取組



【出典】北陸農政課

◇防災技術の蓄積を活かした災害に強い地域づくり

▼海岸侵食対策(下新川海岸)

富山湾特有の「寄り回り波」による災害から人命・財産を守り、海岸侵食を防止



【出典】富山県HP

◇地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化

▼自主防災組織主体の避難所運営訓練

防災訓練として、自主防災組織が中心となった避難所運営



【出典】石川県HP

◇立山・黒部や白山等山岳地域の自然環境保全

▼富山県:立山・黒部地域の環境保全

国立公園内の美観保持、健全なリレエーションの場としての維持のため、清掃活動やパトロール、登山道整備や積雪保護策を実施



◇日本海沿岸地域の環境保全

▼千里浜再生プロジェクト

土砂投入・砂流出防止工・人工リーフ等による砂浜の保全



【出典】石川県HP

▼先進的な研究の推進(若狭湾エネルギー研究センター)

国、自治体、大学、産業界一体となったエネルギーの総合的な研究開発拠点形成



【出典】若狭湾エネルギー研究センターHP

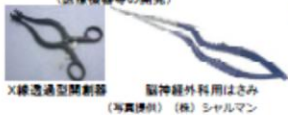
▼間伐材や林地残材等のペレット加工によるバイオマスエネルギー等の普及促進



【出典】富山県HP

◇日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化

▼イノベーションによる新産業の事例  
北陸ライフサイエンスクラスター



X線透過型顕微鏡 脳神経外科用はさみ (写真提供) (株) シヤルマン

◇三大都市圏との近接性を活かし、環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進

▼国際物流ターミナル等の機能強化(金沢港大野地区)



プロジェクト

◇食料供給力の強化

▼農地の整備による生産性の向上(福井平野)



【出典】福井県HP

◇「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路網の開拓・拡充

▼農業6次化の事例(ハトムギ) がんの予防効果や美肌効果が認められる「ハトムギエキス」を開発するなど「はとむぎ茶」の商品化・ブランド化を推進



【出典】JA水原市 水原はとむぎ物産HP

防災体制

▼TEC-FORCEの派遣

大規模自然災害発生時、地方自治体の要請で、災害応急対策に対する技術的な支援を実施



▼高規格幹線道路網の充実

災害時の緊急輸送ネットワークの一翼を担う高規格幹線道路の整備を推進



(東海北陸自動車道)

◇地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり

▼石川県都市公園の整備(金沢城公園)



【出典】石川県HP

▼若狭の社寺建造物群と文化的景観



【出典】小浜市HP

◇国内外観光客の戦略的な誘客拡大

▼伏木富山港伏木地区クルーズ船



【出典】富山県HP

出典：新たな「北陸圏広域地方計画」プレスリリース（北陸圏広域地方計画推進室）

図 32 将来像・目標・戦略・プロジェクトの関連図

(5) 先行して取り組む施策について

広域連携プロジェクトを効率的に進めるとともに早期に効果を発現させるため、広域的な既存の連携事業・施策及び新たな連携の取組みを「先行して取り組む施策」として設定している。

＜先行して取り組む施策＞

- PJ1・9：北陸新幹線の対流促進効果最大化による北陸圏地域活性化プロジェクト
- PJ6：北陸次世代産業創出イノベーション推進プロジェクト
- PJ7：食の「北陸ブランド」の構築と流通・販売網の開拓・充実プロジェクト
- PJ8：強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制の構築プロジェクト

## 2. 北陸圏広域地方計画の推進状況について

### 2.1 計画の進捗管理【プロジェクトの推進】

#### 2.1.1 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト

本プロジェクトは、美しい自然と豊かな農山漁村に囲まれ、住環境や子育て環境にも恵まれた個性ある都市圏の暮らしの質を高め、北陸新幹線の開業も契機としつつ、近接する都市圏相互の魅力を楽しむことのできる接続型都市圏の形成を推進することを目的としている。

#### (1) 住環境や子育て環境にも恵まれた個性的でコンパクトな都市圏の形成による暮らしの質の向上

##### ① 個性豊かでコンパクトな都市圏形成の推進

[継続的な取組み]

○環境モデル都市の推進により地域の活力を創出。2050年の温室効果ガス排出実質ゼロを目指し「ゼロカーボンシティ」の表明及び富山市地球温暖化対策推進計画を策定。【富山市】

##### ② 子育てを支援するワークライフバランスのとれた豊かな地域づくりの推進

[継続的な取組み]

○ワークライフバランス企業の表彰【石川県】

○とやま子育て応援団【富山県】

○プレミアム・パスポート事業【子育てにやさしい企業推進協議会(石川県)】

##### ③ 教育サービスの充実と安心して子どもを育てることのできるまちづくりの推進

[継続的な取組み]

○ふく育パスポート応援団【福井県】

○サイエンス（理数）教育の充実（ふくい理数グランプリなど）【福井県】

・ふくい理数グランプリ開催

・ふくいサイエンスフェスタの開催

・缶サット構造系講座の開催

・福井県内の大学情報の発信やリスキリングプログラムの企画

○大学コンソーシアム石川の取組み【大学コンソーシアム石川】

・いしかわシティカレッジ（単位互換事業の実施）

・教職員研修事業

・金沢・いしかわフィールドワーク支援事業

・兼六園周辺文化施設の学生のまちパスポート事業

・e教育支援センター

・地域課題研究ゼミナール支援事業

・出張オープンキャンパス事業

・石川県高大連携セミナー事業

・石川県の大学ガイドブック

- ・石川未来プロジェクト
- ・学都いしかわグローバルチャレンジプログラム事業
- ・高等教育機関及び学生による地域貢献活動の実態調査
- ・文化系芸術祭 まちなか芸術祭
- ・「学都石川」高校教員キャンパスツアー
- ・学都いしかわエクスターンシップ
- ・学都いしかわグローバル人材育成支援制度
- 大学コンソーシアム富山の取組み【大学コンソーシアム富山】
  - ・単位互換
  - ・県内企業訪問
  - ・グローバルチャレンジ入門講座
  - ・学生による地域フィールドワーク研究助成
  - ・学生地域リーダー塾
  - ・高大連携セミナー
  - ・地域課題解決事業
  - ・大学連携講演
  - ・駅前キャンパス研修室利用
  - ・進学パンフレット
  - ・大学等イベント情報
- 「暮らしの道」の安全の推進【北陸地方整備局】
  - ・金沢自転車ネットワーク協議会開催(R5.9月)

#### ④ 医療・福祉サービスの充実

[継続的な取組み]

- 富山型デイサービス【富山県】

#### (2) 近接する都市圏相互の魅力を享受することのできる接続型都市圏の形成に向けた取組み

##### ① 都市間の連携機能の強化

[継続的な取組み]

- 高規格道路の整備

【北陸地方整備局】

- ・能越自動車道（輪島道路、田鶴浜七尾道路）、富山高山連絡道路（猪谷楡原道路、大沢野富山南道路）、金沢外環状道路（金沢東部環状道路、海側幹線（今町～鞍月））等の整備促進

##### ② 二地域居住、移住・定住促進に向けた暮らしやすさを伝える地域ブランドの情報発信

[継続的な取組み]

- 暮らしよさ日本一の北陸地域ブランドの確立と魅力の発信【北陸イメージアップ推進会議】

##### ③ 若年層の定住、UIJターンの受入促進

[継続的な取組み]

- ふるさと就職の促進【石川県】
  - ・合同企業説明会
  - ・インターンシップマッチング交流会
  - ・いしかわ就職・定住総合サポートセンター（ILAC）（ILAC 東京・大阪含む）の運営
- 「ふるさと福井移住定住促進機構」の設置【福井県】
- 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会の設置【北陸地方整備局】
  - ・北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（新潟県部会）開催（R5.10月）
  - ・北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（富山県部会）開催（R5.11月）
  - ・北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（石川県部会）開催（R5.11月）
  - ・北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会開催（R5.12月）
- 生産性革命「深化の年」に向けて（i-Construction の推進）、ICT土工の地方自治体への普及促進【北陸地方整備局】
  - ・第5回北陸地方整備局インフラDX推進本部会議の開催（R5.5月）
  - ・令和5年度ICT人材育成推進企業の認定（R5.7月）
  - ・i-construction技術講習会（R5.10月）
  - ・令和5年度ICT活用講習会（実践者クラス）（R5.11月）
  - ・北陸インフラDX人材育成センター開所（R6.3月）

(3) 個性ある都市圏の連携を強化するネットワークの形成に向けた取組み

① 職住に便利な公共交通を核とした地域づくりの推進

[継続的な取組み]

- パーク・アンド・ライドの推進【金沢都市圏パーク・アンド・ライドシステム実施協議会】
  - ・パーク・アンド・バスライド
  - ・パーク・アンド・レールライド
- 主要都市の環状道路やバイパス等の整備【北陸地方整備局】
  - ・富山外郭環状道路（豊田新屋立体、中島本郷立体）、高岡環状道路（六家立体）、金沢外環状道路（金沢東部環状道路、海側幹線（今町～鞍月））等の整備促進

② 北陸新幹線開業を契機とした都市圏ネットワークの充実にに向けた取組み

[継続的な取組み]

- 新規出店サポート事業【富山市】
  - ・商店街の空き店舗への出店者が行う店舗の改装、店舗の賃借、経営相談又は中心商店街の商店街団体が行う店舗誘致活動に対して支援
- 水辺空間賑わい創出事業【学習支援船運営委員会（富山県、富山市）】
  - ・中心市街地の貴重な水辺空間である富岩運河環水公園や富岩運河を活用して富岩水上ラインを運航することにより、まちなかの魅力を向上させ賑わいの創出を図る。
- エコリンク事業【(株) 富山市民プラザ】

- ・エコリンク事業：樹脂製のスケートリンクを設置し、あわせて、関連イベントや商店街と連携したイベントを実施することにより、冬期間の来街者の増加と回遊性の向上を図る。
- 地場もん屋運営【富山市】
- 中心市街地の回遊性の向上を目的に運行するコミュニティバスの運行支援【(株) 富山市民プラザ】
- まちなか居住推進事業【富山市】
  - ・質の高い住宅建設や良質な住宅取得に対して支援
- 中心市街地活性化計画の策定【福井市、越前市、大野市、敦賀市】
  - ・「福井まちなか地区都市再生整備計画」の期間を令和5年度まで延長
- 北陸新幹線駅前の整備計画【富山市】
  - ・駅前広場等の整備
- 富山駅付近連続立体交差事業【富山県】

#### (4) 公共施設の計画的な管理に向けた取組み

[継続的な取組み]

- 道路の老朽化対策の実施
  - <富山県道路メンテナンス会議>【北陸地方整備局】
    - ・第1回富山県道路メンテナンス会議（R5年8月3日）
    - ・第2回富山県道路メンテナンス会議（R6年3月、書面開催）
  - <石川県道路メンテナンス会議>【北陸地方整備局】
    - ・第1回石川県道路メンテナンス会議（R5年8月9日）
  - <福井県道路メンテナンス会議>【近畿地方整備局】
    - ・第1回福井県道路メンテナンス会議（R5年7月24日）
- 港湾施設の老朽化対策の実施【北陸地方整備局】
  - ・伏木富山港（富山地区）の岸壁改良事業の推進
  - ・敦賀港（鞠山北地区）の防波堤改良事業の推進

■取り組み事例 大学コンソーシアム石川の取組み【大学コンソーシアム石川】

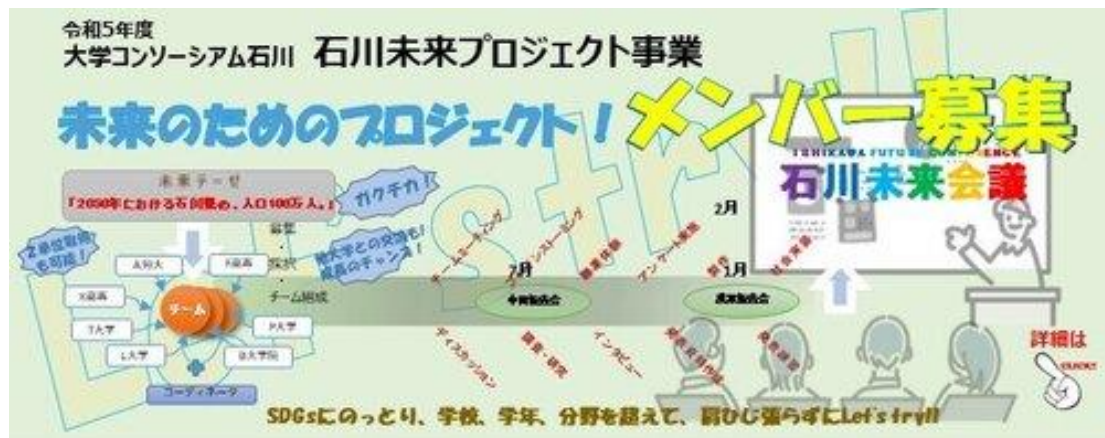
継続的な取組み

○石川未来プロジェクトの実施

石川未来プロジェクトは、大学コンソーシアム石川の地域連携事業の一環として、石川県内の学生らがチームを組み、2050年における「石川県の人口100万人。」という未来テーマに対して取り組む問題解決型プロジェクトである。

1～2週間に1度程度のミーティングや実践活動を行い、活動の成果は年度末に開催される「石川未来会議」にて未来テーマに対する答申を石川県を代表するオーソリティに提言する。

[令和5年度石川未来プロジェクト：メンバー募集]



出典：令和5年度石川未来プロジェクト募集要項, 公益社団法人大学コンソーシアム石川

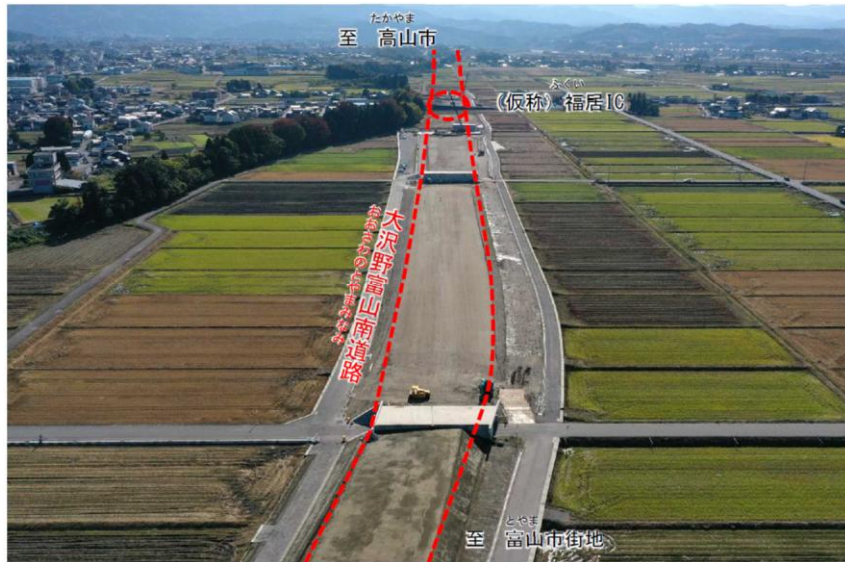
## ■取組み事例 高規格幹線道路の整備【北陸地方整備局】

継続的な取組み

### ○国道 41 号 大沢野富山南道路事業の推進

大沢野富山南道路は、高規格道路「富山高山連絡道路」の一部として、一般国道 41 号の交通渋滞の緩和、医療品製造業等の地域の産業を支える物流の信頼性向上を目的とした、富山市楡原から同市栗山に至る延長約 12.0km の道路事業である。

令和 5 年度は、調査設計、用地買収を推進することで、事業の着実な進捗を図っている。



出典：北陸地方整備局資料

### ○国道 159 号 金沢東部環状道路事業の推進

金沢東部環状道路は、金沢市中心部における交通渋滞の緩和を図るとともに、北陸自動車道や、のと里山海道とあわせた広域的な道路ネットワークの形成を目的とした、金沢市今町から同市鈴見台に至る延長約 9.4 km の道路事業である。

令和 5 年度は、金沢市月浦町から同市神谷内町間（延長 1.8km）が 8 月 11 日に開通したほか、金沢市梅田町から同市月浦町間では、改良工事および橋梁下部工事を推進することで、事業の着実な進捗を図っている。



出典：国道 159 号金沢東部環状道路（月浦町～神谷内町）4 車線化開通（令和 5 年 8 月 4 日、記者発表資料）、金沢河川国道事務所

■取組み事例 主要都市の環状道路やバイパス等の整備【北陸地方整備局】

継続的な取組み

○金沢外環状道路（海側幹線（今町～鞍月））の整備促進

金沢外環状道路は、金沢都市圏における環状道路であり、海側幹線は、山側幹線と一体となって都市圏の通過交通の迂回や、市内への交通経路の分散により、交通の円滑化を図る重要な幹線道路である。

金沢外環状道路海側幹線の一部を構成する金沢市今町～福久地区、及び大河端～鞍月地区において、道路本線部を立体構造に整備することで、交通の流れを円滑にし、より安全な道路を目指す。



出典：金沢外環状道路 一般国道 8 号 海側幹線（今町～鞍月），金沢河川国道事務所

■取組み事例 越前たけふ駅周辺整備推進事業【越前市】

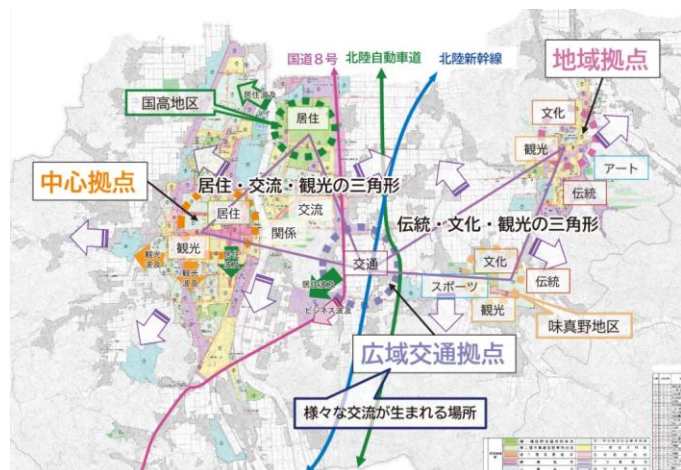
新しい取組み

北陸新幹線越前たけふ駅周辺への企業・人材の集積に向けて、トップセールスをはじめとする積極的な企業誘致を行い、ネットワークを形成する。

また、その受け皿となる交流拠点（仮称：越前たけふ未来創造基地）について、民間施設との一体的整備を視野に、機能や整備手法に関する基本構想を策定する。

◆越前たけふ駅周辺に期待される機能

北陸自動車道、国道8号も半径1km以内に近接する広域交通の結節点であり、丹南地域の広域交通の玄関口として、丹南地域のみならず、県域を超える多様な利用者を対象とする広域交流及び連携拠点としてふさわしい「広域高次都市機能」の誘導を図ることが期待される。



◆越前たけふ未来創造基地（仮称）

越前たけふ駅を基点としたネットワークの受け皿となる交流拠点。ホテルや飲食施設、先端研究施設、交通結節機能を活かす物流施設等を段階的に誘致。



出典：越前たけふ駅周辺整備推進事業 事業実施計画書, 越前市 ([https://www.city.echizen.lg.jp/office/060/010/ppp\\_execution\\_plan.html](https://www.city.echizen.lg.jp/office/060/010/ppp_execution_plan.html))

第2期越前市都市計画マスタープラン, 越前市 ([https://www.city.echizen.lg.jp/office/070/020/toshikeikaku/master\\_plan/mp\\_kaitei\\_d/fil/mp-no2-honpen.pdf](https://www.city.echizen.lg.jp/office/070/020/toshikeikaku/master_plan/mp_kaitei_d/fil/mp-no2-honpen.pdf))

デジタル技術等の先端技術を導入した業務・商業・観光など多様な施設の誘致・整備により、新たな価値を創造し続ける地域創生のモデルとなる、地域未来型のまちづくりを目指す。

○加賀温泉駅南地区の6つの拠点化

- ①交通拠点化：陸・海・空の連携を強化、人と物の円滑な移動を促す。
- ②観光拠点化：交通アクセスの優位性を活用し観光資源のネットワークを確保
- ③環境対策拠点化；地域発電・地域廃棄物の処理、循環型社会構築（SDGs）
- ④安心・安全の拠点化：健康生活へのサポート、災害時の安全性確保
- ⑤新産業創造拠点化：地場産業育成への研究・開発ラボの誘致
- ⑥生活拠点化：福祉・教育文化・女性社会進出を含む生活インフラを官民一体で開発

〈具体的な構想〉

②観光拠点化

半径約5kmに集まる加賀三湯（山代・山中・片山津）間のネットワークを確保

■ 温泉：山代・山中・片山津

■ 加賀三湯  
霊峰白山の恵みにより育まれた、山代、山中、片山津、3つの温泉地は、半径約5キロの小さな範囲に集まっていてコンパクトリゾートを可能にします。



■ 山代温泉 古総湯  
湯の曲輪の中心に位置する古くから多くの文化人に愛され、丸谷橋が再興された地でもある山代温泉。



■ 山中温泉 菊の湯  
山中温泉は、1300年の歴史を誇る温泉地です。「奥の細道」の途上訪れた芭蕉もいたく気に入る宿泊。



■ 片山津温泉 総湯  
目を引くガラス張りの建築は谷口吉生氏の設計。平成24年片山津温泉に新しい総湯がオープン。

④安心・安全の拠点化

生活の拠点、防災の拠点であり、地域と共にウェルネスへの気づきや学び、成長の場を創出

■ 安心・加賀市医療センター

**市民と実現したい「医療の地産地消」**

治療からケアへ、それが国の最近の施策です。全ての人の生活の面影を見ることが、自治体病院の社会的使命になってきています。

平成28年4月開業。救急車を断らない、全室個室総合診療、地域の医療機関と連携し病氣治療だけでなく住民の暮らしをケア。

**【施設概要】**  
300床（一般病棟）214床（内ハイケアユニット）  
10床（地域包括ケア病棟）41床（回復期リハビリテーション病棟）45床

**【加賀市医療センター機能】**

- ・安心できる救急医療体制をめざします
- ・医療と介護の連携を強化します
- ・病室は全て個室で快適な療養環境を提供
- ・セキュリティを強化災害に強い病院として患者さんの安全を守ります
- ・健診センターを併設します

■ 安全・地域広域防災拠点

地方公共団体が実施する地域的な災害対策活動とともに、これを支援する。救援物資の中継・分配、災害医療支援、応急・復旧資機材等の広域輸送、トラック、ヘリコプター等の輸送手段の確保及び運用、広域支援部隊の投入等の広域的な災害対策活動を行う必要に応じた対応。

	機 能	施設概要
地域防災拠点	以下の様々な機能が存在 ・地方公共団体の災害対策本部 設置 ・避難所への輸送手段、災害救助のベースキャンプ 等	・非常用電源 ・ヘリポート ・輸送用機、ベースキャンプのためのスペース 等
広域防災拠点	・防護服・応急医療支援隊等について、域外から域内の避難所へ輸送（ヘリポート） ・広域支援部隊等の待機拠点（ベースキャンプ） 等	・物資の一時的集積、積込はき等に要するスペース ・ヘリポート ・広域支援部隊等のためのスペース ・ベースキャンプ 等

出典：株式会社長工による加賀温泉駅南地区開発構想の提案, 加賀市 ([https://www.city.kaga.lshikawa.jp/soshiki/seisaku\\_senryaku/risetown/kagaonsenminami/11553.html](https://www.city.kaga.lshikawa.jp/soshiki/seisaku_senryaku/risetown/kagaonsenminami/11553.html))

■取組み事例 道路の老朽化対策の実施【北陸地方整備局、近畿地方整備局】

継続的な取組み

○道路メンテナンス会議の開催

道路施設の点検や補修・更新等を効率的・効果的に行うため、各県で全ての道路管理者からなる「道路メンテナンス会議」を設立し、確実にメンテナンスサイクルを回すための各種取組みを実施している。

市町村が抱える『三つの課題』  
・**人不足** ・**技術力不足** ・**予算不足**  
点検が進まない  
点検結果の妥当性が確認できない  
適切な修繕が実施できない

課題解決のために…

道路メンテナンス会議



- ・すべての道路管理者が参加
- ・情報の共有、連携、支援方策を検討

○令和5年度道路メンテナンス会議の開催状況

- <富山県> ➤第1回富山県道路メンテナンス会議 (R5年8月3日)
- 第2回富山県道路メンテナンス会議 (R6年3月、書面開催)
- <石川県> ➤第1回石川県道路メンテナンス会議 (R5年8月9日)
- <福井県> ➤第1回福井県道路メンテナンス会議 (R5年7月24日)

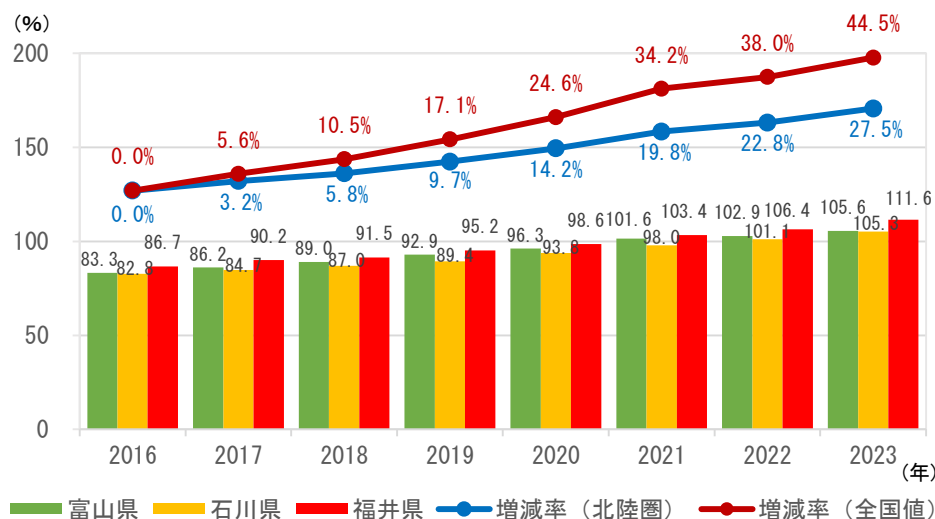
出典：富山県道路メンテナンス会議, 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 ([https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/common/old/road2014/road10/menntekaigi\\_toyama.htm](https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/common/old/road2014/road10/menntekaigi_toyama.htm))  
石川県道路メンテナンス会議, 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 ([https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/douro/roukyuukataisaku/menntekaigi\\_ishikawa.htm](https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/douro/roukyuukataisaku/menntekaigi_ishikawa.htm))  
福井県道路メンテナンス会議, 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 (<https://www.kkr.mlit.go.jp/fukui/douro/kaigi/mainte.html>)

(5) 進捗状況

1) 住環境や子育て環境にも恵まれた個性的でコンパクトな都市圏の形成による暮らしの質の向上

■モニタリング指標：①人口（0-4歳）あたり保育所定員数の割合

北陸圏の人口（0-4歳）あたり保育所定員数の割合は、年々増加傾向であり、2022年（令和4年）には3県とも100%を超えている。また、北陸圏の2023年（令和5年）における割合は107.1%となっており、全国平均の74.5%に対して大幅に高い水準である。



※増減率は対2016年（平成28年）比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
富山県	0~4歳人口(人)	38,562	37,827	36,966	36,046	34,812	33,022	32,453	31,144
	保育所定員(人)	32,125	32,622	32,908	33,491	33,513	33,537	33,386	32,883
	0~4歳あたり保育所定員数の割合(%)	83.3%	86.2%	89.0%	92.9%	96.3%	101.6%	102.9%	105.6%
石川県	0~4歳人口(人)	46,271	45,554	44,494	43,142	41,694	39,712	38,367	36,799
	保育所定員(人)	38,293	38,606	38,690	38,587	39,094	38,915	38,806	38,749
	0~4歳あたり保育所定員数の割合(%)	82.8%	84.7%	87.0%	89.4%	93.8%	98.0%	101.1%	105.3%
福井県	0~4歳人口(人)	31,848	31,056	30,484	29,603	28,663	27,415	26,712	25,453
	保育所定員(人)	27,611	28,000	27,879	28,174	28,263	28,349	28,427	28,399
	0~4歳あたり保育所定員数の割合(%)	86.7%	90.2%	91.5%	95.2%	98.6%	103.4%	106.4%	111.6%
北陸圏	0~4歳人口(人)	116,681	114,437	111,944	108,791	105,169	100,149	97,532	93,396
	保育所定員(人)	98,029	99,228	99,477	100,252	100,870	100,801	100,619	100,031
	0~4歳あたり保育所定員数の割合(%)	84.0%	86.7%	88.9%	92.2%	95.9%	100.7%	103.2%	107.1%
全国	0~4歳人口(人)	5,111,730	5,024,936	4,917,358	4,783,530	4,621,309	4,362,939	4,279,321	4,095,292
	保育所定員(人)	2,634,510	2,735,238	2,800,579	2,888,159	2,967,328	3,016,918	3,044,399	3,050,928
	0~4歳あたり保育所定員数の割合(%)	51.5%	54.4%	57.0%	60.4%	64.2%	69.1%	71.1%	74.5%

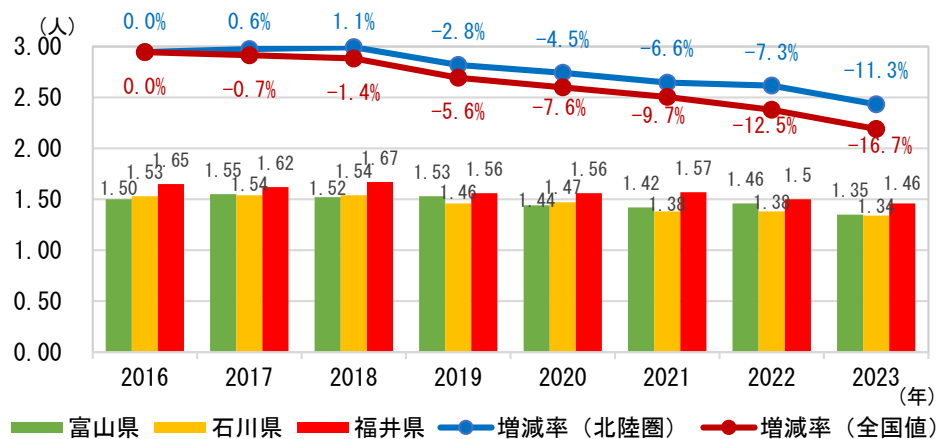
出典：厚生労働省「社会福祉施設等調査」総務省「住民基本台帳」

図 33 北陸圏 人口（0-4歳）あたり保育所定員数の割合の推移

(2024年10月時点の公表データ)

■モニタリング指標：②合計特殊出生率

北陸圏の2023年(令和5年)における合計特殊出生率は、2016年(平成28年)と比較すると11.3%減少しており、全国と同様に減少傾向にある。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：厚生労働省「人口動態統計」

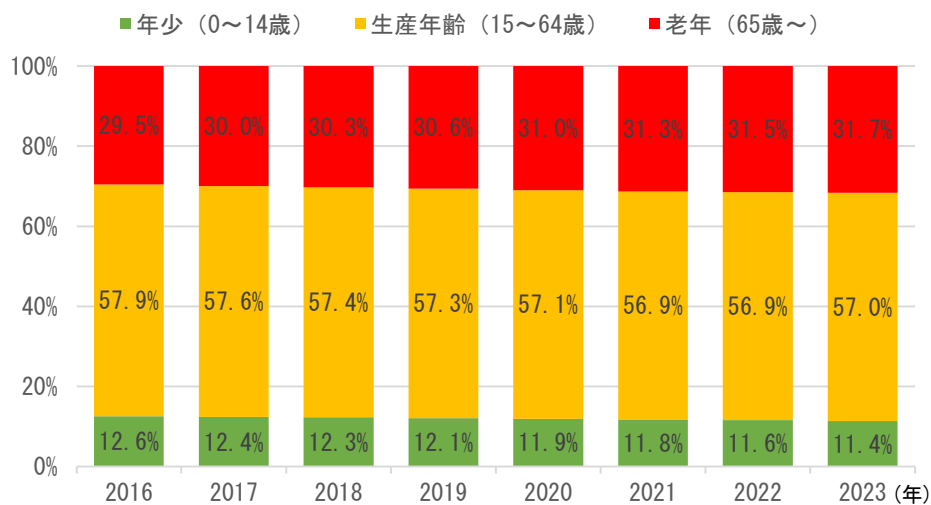
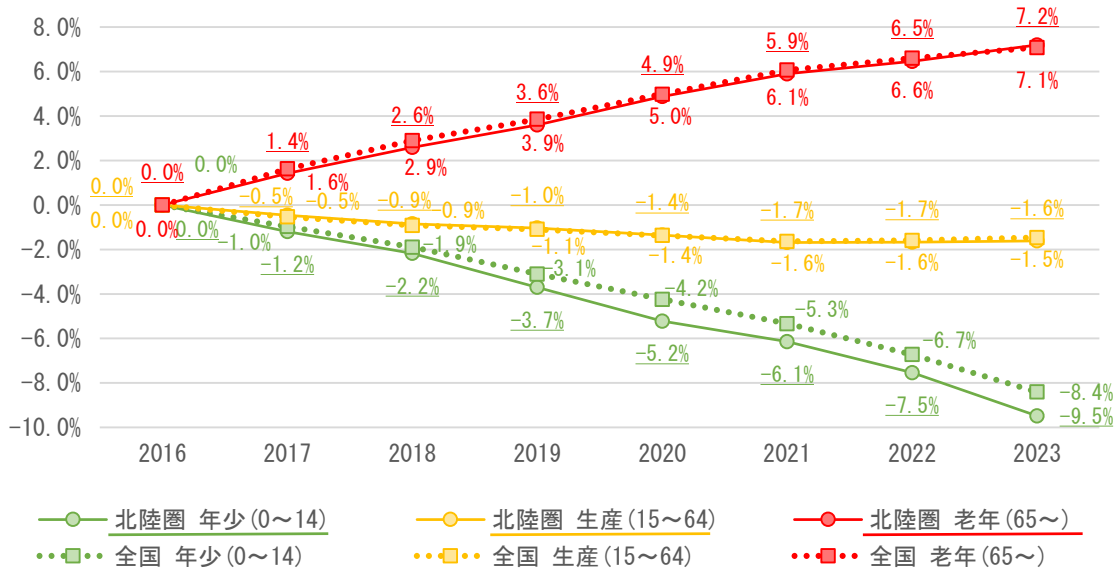
図 34 北陸圏 合計特殊出生率の推移

(2024年10月時点の公表データ)

2) 近接する都市圏相互の魅力を享受することのできる接続型都市圏の形成に向けた取組み

■モニタリング指標：年代別人口の増減率（2016年(平成28年)比）

北陸3県において、老年人口は全国と同様に年々増加傾向となっている。一方、年少人口は年々減少してきており、少子高齢化社会の進行が顕著となっている。



出典：総務省「人口推計」 総人口(各年10月1日現在)

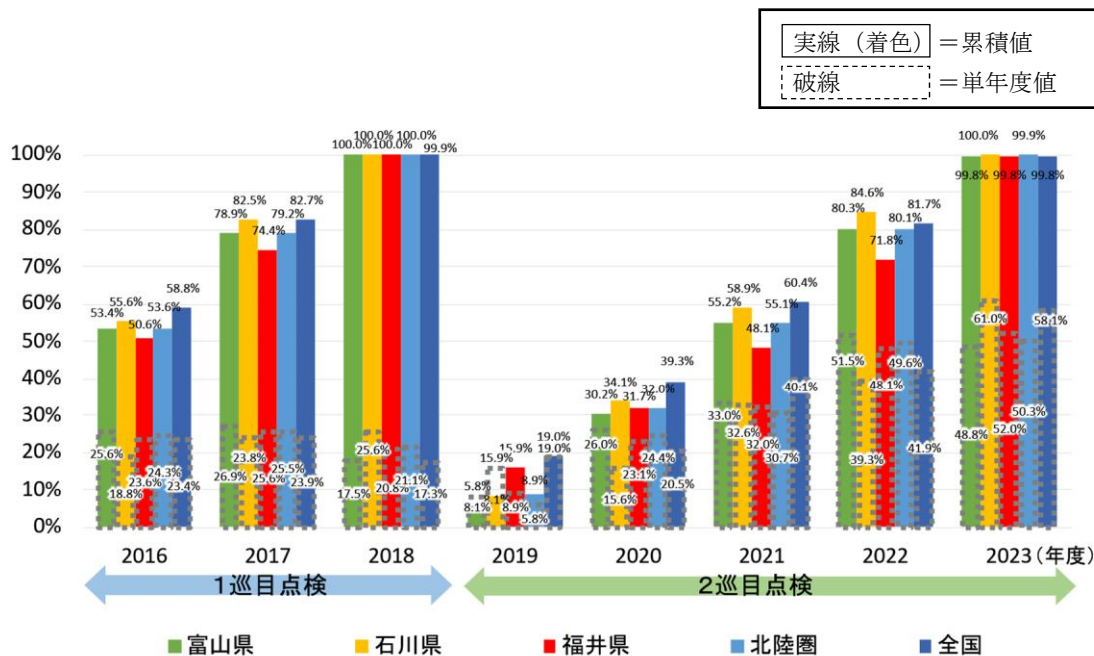
図 35 北陸圏における世代構成比(下)と世代構成比増減(上)の推移

(2024年10月時点の公表データ)

### 3) 公共施設の計画的な管理に向けた取組み

#### ■モニタリング指標：橋梁の点検実施率

2014年度(平成26年度)から2018年度(平成30年度)までに1巡目点検が完了し、2019年度(令和元年度)から2巡目点検に着手している。北陸3県では、国が管理する点検対象の全橋梁数に対して、2023年度(令和5年度)に99.9%の橋梁で点検が実施されている。



出典：国土交通省「道路メンテナンス年報」

図 36 橋梁の点検実施率の推移 (国が管理する橋梁)

(2024年10月時点の公表データ)

## 2.1.2 いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト

本プロジェクトは、農山漁村で安心して暮らせる環境づくりを進めるため、農林漁業が健全に育まれることを基本とし、福祉サービス充実等、集落機能の再生・維持・強化、里地里山や里海の保全と林業の成長産業化、野生鳥獣の被害防止対策の強化による農山漁村の活性化を推進する。また、都市と農山漁村との交流拡大や未利用資源の利活用、農林水産業への新規就業を促進し、農山漁村地域の経済の活性化を図ることを目的としている。

### (1) 農山漁村の活性化

#### ① 福祉サービス充実等集落機能の再生・維持・強化

[継続的な取組み]

##### ○「道の駅」の取組みの推進【北陸地方整備局】

- ・道の駅「ちぢみの里おぢや」リニューアルオープン（R5年4月19日）
- ・北陸「道の駅」カードの発売開始（R5年7月21日から）

##### ○農業・農村の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援（日本型直接支払）【北陸農政局】

- ・農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保管理を推進
- ・中山間地域等直接支払交付金  
中山間地域等の農業生産条件の不利を補正することにより、農業生産活動を将来に向けて維持する活動を支援
- ・環境保全型農業直接支払交付金による支援  
化学肥料、化学合成農薬を原則5割以上低減する取組みと合わせて行う、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援

##### ○ふくい空き家情報バンクの充実【福井県】

- ・ふくい空き家情報バンクで新ふくい人等に空き家情報を提供

#### ② 里地里山や里海の保全と林業の成長産業化

[継続的な取組み]

##### ○「ふるさと学びの森」の全県展開【福井県】

- ・ふるさと学びの森設置・登録団体の活動

##### ○元気な里山里海づくり【石川県】

- ・いしかわ里山振興ファンドによる生業の創出等の民間の取組みに対する支援

##### ○いしかわ農村ボランティア【石川県】

- ・過疎化や高齢化で人手不足となっている集落に、都市住民のボランティア（「農村役立ち隊」）を派遣（H22年度～）

##### ○中山間営農継続支援事業【福井県】

- ・各市町に地域の現状把握や相談の窓口（サポートセンター）を設置し、地域マネージャーが作業受委託の相談や支援・指導活動を実施
- ・アグリサポーターとして登録された農家が小区画農地の農作業を受託し、耕作放棄地の発

- 生を未然に防止。アグリサポーターが受託作業を行う際のかかりまし経費を県が助成
- ・山奥などアグリサポーターや担い手のいない地域においても、JA 等による広域的に作業を受託する体制を整備し、耕作放棄地の発生を未然に防止
- 富山県森づくり条例を制定し、条例に基づき「水と緑の森づくり税」を導入し、「富山県森づくりプラン」を基本としてとやまの森づくりを推進【富山県】
- とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業【富山県】
- いしかわ森林環境税の活用による森林整備や、森林に対する理解の増進及び県民参加の森づくりの推進【石川県】
- 地籍調査【福井市】

### ③ 野生鳥獣の被害防止対策の強化

[継続的な取組み]

- 鳥獣被害防止措置法及び関連対策等を通じ、被害防止に向けた取組みへの指導、助言【北陸農政局】
  - ・鳥獣被害防止特措法に基づいて、各市町村が被害防止計画作成及び鳥獣被害対策実施隊を設置する。

## (2) 都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化

### ① 都市と農山漁村との交流拡大

[継続的な取組み]

- グリーンツーリズムの推進【富山県】
  - ・「とやま帰農塾」
- 都市農村共生・対流及び地域活性化対策【北陸農政局】
  - ・農山漁村振興交付金(地域活性化対策)により支援
- 農泊推進対策【北陸農政局】
  - ・農山漁村振興交付金(農泊推進対策)により支援
- 中部縦貫自動車道の整備促進
- 農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)【北陸農政局】
  - ・農山漁村活性化のための定住等及び地域間交流の促進に関する法律に基づき県及び市町村で策定された活性化計画の施設整備等に対して支援

### ② 農林水産業への新規就業の促進

[継続的な取組み]

- LED 等を利用した屋内の大規模園芸設備等による企業の園芸を支援(植物工場立地促進事業)【福井県】
  - ・植物工場立地促進事業：農業参入を検討している企業の誘致にむけた取組を実施
  - ・本事業への応募計画の審査・認定

■取組み事例 「道の駅」の取組みの推進【北陸地方整備局】

継続的な取組み

○北陸「道の駅」カード発売

「道の駅」カードは、「道の駅」に訪れる機会をつくり、利用者を増やすことで地域の活性化を図ることを目的に販売開始された。各「道の駅」毎に限定1000枚用意され、1枚200円で販売された。56枚全ての「道の駅」カードを集めると、コンプリートカードが進呈される。

<「道の駅」カードの記載情報>

- ◆シリアルナンバー：県名+シリアルナンバー
- ◆前後の道の駅：近隣の道の駅と、そこまでの距離
- ◆供用年月日：開業日
- ◆休館日：代表的な施設の休館日
- ◆QRコード：北陸道の駅連絡会のHPへのリンク
- ◆道の駅のおすすめポイント・おすすめ3選：道の駅からのおすすめ商品・イチオシ情報を記載
- ◆ルートナンバー：道の駅の登録上の接続道路を記載

**北陸「道の駅」カード発売!**  
 令和5年7月21日(金)より

北陸3県 (56駅)

新潟 30駅  
 石川 15駅  
 富山 11駅

応募者全員に進呈  
 Complete Memorial 北陸3県制覇

限定1,000枚  
 1枚200円

「道の駅」カードを全て揃えて  
 コンプリートカードを  
 もらおう!

**申込方法**  
 一番最初に「道の駅カード」を購入した「道の駅」からコンプリート申込台紙を受け取り、購入した「道の駅」から捺印を台紙に押してもらってください。全部集まったら台紙に必要事項を記載して北陸「道の駅」連絡会事務局までにお送りください。 ※郵送料はお客様負担となりますのでご了承ください。

**応募台紙送付先のお問い合わせ先**  
 北陸「道の駅」連絡会事務局  
 〒950-0197  
 新潟県北蒲原郡刈谷町土室田地3-3-4  
 TEL: 025-282-7897 (土日祝日を除く9:00~17:00)  
 FAX: 025-383-1205

福井	石川	富山	新潟	山梨	長野
福井 阿賀野道	石川 ROKUとちぎ	富山 越前が原 保内	新潟 上越 越後	山梨 山梨 山梨	長野 長野 長野
福井 豊田道	石川 粟津の郷 粟津	富山 粟津の郷 粟津	新潟 新潟 新潟	山梨 山梨 山梨	長野 長野 長野
福井 新加通 新加通	石川 粟津の郷 粟津	富山 粟津の郷 粟津	新潟 新潟 新潟	山梨 山梨 山梨	長野 長野 長野
福井 粟津の郷 粟津	石川 粟津の郷 粟津	富山 粟津の郷 粟津	新潟 新潟 新潟	山梨 山梨 山梨	長野 長野 長野
福井 粟津の郷 粟津	石川 粟津の郷 粟津	富山 粟津の郷 粟津	新潟 新潟 新潟	山梨 山梨 山梨	長野 長野 長野
福井 粟津の郷 粟津	石川 粟津の郷 粟津	富山 粟津の郷 粟津	新潟 新潟 新潟	山梨 山梨 山梨	長野 長野 長野
福井 粟津の郷 粟津	石川 粟津の郷 粟津	富山 粟津の郷 粟津	新潟 新潟 新潟	山梨 山梨 山梨	長野 長野 長野
福井 粟津の郷 粟津	石川 粟津の郷 粟津	富山 粟津の郷 粟津	新潟 新潟 新潟	山梨 山梨 山梨	長野 長野 長野
福井 粟津の郷 粟津	石川 粟津の郷 粟津	富山 粟津の郷 粟津	新潟 新潟 新潟	山梨 山梨 山梨	長野 長野 長野
福井 粟津の郷 粟津	石川 粟津の郷 粟津	富山 粟津の郷 粟津	新潟 新潟 新潟	山梨 山梨 山梨	長野 長野 長野

出典：北陸「道の駅」カード発売, 北陸「道の駅」連絡会事務局  
 (<https://www.hokuriku-michinoeki.jp/contents/tradingcard/>)

■取組み事例 グリーンツーリズムの推進【富山県】

継続的な取組み

○「とやま帰農塾」の開催

「とやま帰農塾」は、富山県の農山漁村で地元の方と一緒に過ごす田舎暮らし体験プログラムで、植え付けや収穫、草取りなど、その時季の地元特産物の農作業のほか、地元の方と一緒にとれたての農産物で地元の料理を作って食べるなどの体験を実施している。



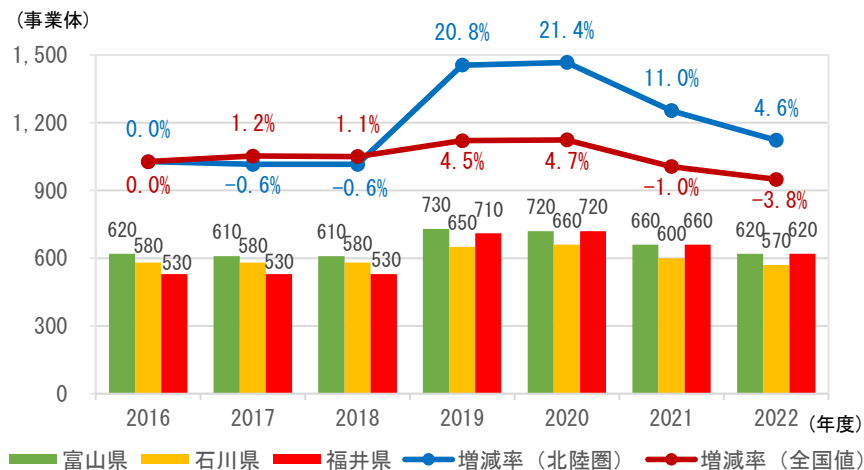
出典：グリーンツーリズムとやまホームページ とやま帰農塾, NPO 法人グリーンツーリズムとやま (<http://gt-toyama.net/>)

### (3) 進捗状況

#### 1) 農山漁村の活性化に向けた取組み

##### ■モニタリング指標：農業生産関連事業の事業体数

北陸圏の2022年度(令和4年度)における農業生産関連事業の事業体数は、2016年度(平成28年度)と比較すると4.6%増加している一方で、全国値は3.8%減少している。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：農林水産省「6次産業化総合調査」

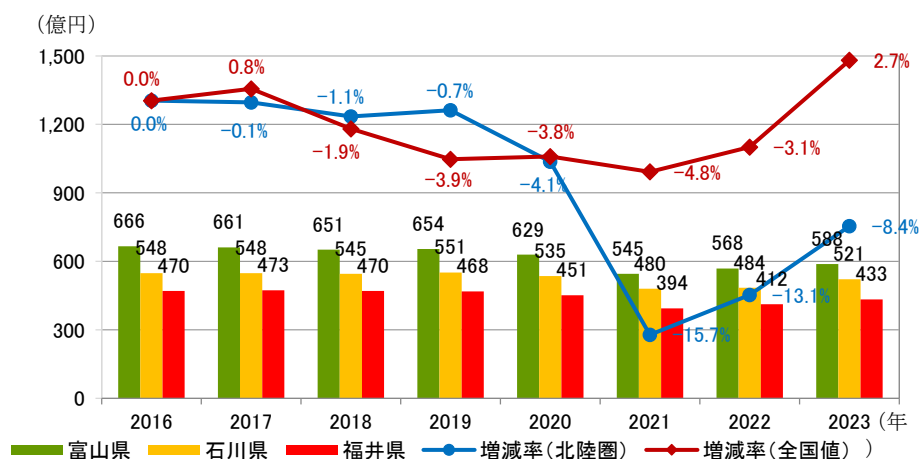
図 37 農業生産関連事業の事業体数

(2024年10月時点の公表データ)

#### 2) 都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化

##### ■モニタリング指標：農業産出額

北陸圏の2023年(令和5年)における農業産出額は、2016年(平成28年)と比較すると8.4%減少しており、全国値(2.7%増加)とは反対に、減少傾向が続いている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：農林水産省「生産農業所得統計」

図 38 農業産出額

(2024年12月時点の公表データ)

### 2.1.3 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏が抱える厳しい自然条件や地球温暖化にともなう気候変動、異常気象の増加等の災害要因に対する防災力を強化するため、降積雪・波浪・風水害・土砂災害・日本海沿岸域を震源とする地震・火山への対策に取り組むとともに、災害リスクの評価・共有を行う。また、これまでに培った防災経験や知恵、地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化に取り組むことを目的としている。

#### (1) 防災技術の蓄積を活かした災害に強い地域づくり

##### ① 冬期の降積雪や風浪等への対策強化

[継続的な取組み]

- ボランティアサポートプログラム（歩道除雪）の推進【北陸地方整備局】
- 下新川海岸直轄海岸保全施設整備事業【北陸地方整備局】
  - ・下新川海岸 越波・浸水対策の整備推進
- 災害時のAIによる異常検知の導入【近畿地方整備局】
  - ・AI 交通障害自動検知システムによる交通障害把握の推進

##### ② 風水害・土砂災害等への対策強化

[継続的な取組み]

- 災害時の交通マネジメントの実施【北陸地方整備局】
  - ・令和6年1月1日(月)に発生した令和6年能登半島地震では、被災地へ流入する一般車両が一部の道路に集中し、各地で渋滞が発生したことから、「石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震）」を設置し、包括的な交通マネジメントを実施するための議論が行われた。
- 黒部川（直轄河川改修事業）の推進【北陸地方整備局】
  - ・黒部川で急流河川対策の推進
  - ・黒部川ダム排砂評価委員会の開催（R6.1月、R6.3月）
  - ・黒部川土砂管理協議会の開催（R5.5月、R6.2月）
- 常願寺川、神通川、庄川、小矢部川（直轄河川改修事業）の推進【北陸地方整備局】
  - ・常願寺川護岸擁壁倒壊箇所の応急復旧（R5.7月）
  - ・富山市街地重点防御築堤事業（R5.9月）
  - ・常願寺川、神通川、庄川、小矢部川での出水を想定した洪水対応演習を実施（R5.5月）
  - ・第2回常願寺川水系流域委員会（R5.12月）
- 手取川（直轄河川改修事業）の推進【北陸地方整備局】
  - ・手取川急流河川対策の推進
  - ・手取川 西川・熊田合流点処理の推進
  - ・大規模出水に備えた洪水対応演習（R5.6月）
  - ・手取川・梯川・石川海岸水防連絡会及び手取川、梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会（R5.5月）
- 九頭竜川改修事業の推進【近畿地方整備局、福井県】

- ・ダム洪水調節機能協議会（R5.6月）
- 足羽川ダム【近畿地方整備局】
  - ・足羽川ダム建設事業の推進
- 大規模氾濫に関する減災対策協議会の開催【北陸地方整備局】
  - ・常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川等大規模氾濫に関する減災対策協議会の開催（R5.5月）
  - ・手取川・梯川・石川海岸水防連絡会及び手取川、梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会（R5.5月）
- 流域治水プロジェクトに関する協議会等の開催【北陸地方整備局、近畿地方整備局】
  - ・常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川流域治水プロジェクト協議会（R6.3月）
  - ・手取川・梯川水系流域治水協議会の開催（R6.3月）
  - ・九頭竜川・北川流域治水協議会の開催（R6.3月）
- 海岸における水害防止・軽減【北陸地方整備局】
  - ・下新川海岸の寄り回り波対応演習を実施（R5.11月）
- 常願寺川水系直轄砂防事業【北陸地方整備局】
  - ・常願寺川水系直轄砂防事業の推進
- 手取川水系直轄砂防事業【北陸地方整備局】
  - ・手取川水系直轄砂防事業の推進
- 黒部河川事務所(黒部川)洪水対応演習【北陸地方整備局】
  - ・黒部川の出水を想定した洪水対応演習を実施（R5.5月）
- 富山河川国道事務所(常願寺川、神通川、庄川、小矢部川)洪水対応演習【北陸地方整備局】
  - ・常願寺川、神通川、庄川、小矢部川での出水を想定した洪水対応演習を実施（R5.5月）
- 金沢河川国道事務所(手取川、梯川)洪水対応演習【北陸地方整備局】
  - ・手取川、梯川の出水を想定した洪水対応演習を実施（R5.6月）

### ③ 日本海沿岸域を震源とする地震対策の強化

[継続的な取組み]

- 伏木富山港（富山地区）耐震強化岸壁の整備【北陸地方整備局】
  - ・伏木富山港（富山地区）において、耐震強化岸壁の整備を推進
- 金沢港の耐震強化岸壁の整備【北陸地方整備局】
  - ・金沢港大野地区において、防波堤の改良を推進
- 敦賀港の耐震強化岸壁の整備【北陸地方整備局】
  - ・敦賀港鞠山北地区において、防波堤及び護岸の改良を推進

### ④ 災害リスクの評価・共有に基づく防災・減災対策の強化

[継続的な取組み]

- 土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定
- 石川県土砂災害情報システム（SABO アイ）【石川県】
  - ・土砂災害情報システム「SABO アイ」を継続運用

- 土砂災害対策アクションプログラム【石川県】
- 国際拠点港湾及び重要港湾における事業継続計画【北陸地方整備局】
- 北陸地域港湾の事業継続計画【北陸地方整備局】
- ・令和5年度広域港湾BCP訓練（情報伝達訓練）の実施（R5.12月）

## (2) 地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化

[継続的な取組み]

- 自主防災組織の充実等
  - 【富山県】
    - ・自主防災組織リーダー研修会
  - 【富山市】
    - ・自主防災組織活動事業補助金（一般資機材）
- 土砂災害対策アクションプログラムの推進（地区の土砂災害に対する防災意識を高めるため、地区の防災意識向上プログラム、小学校出前講座の計画的な実施、地区・住民主導の避難訓練の実施などに取り組む）【石川県】
  - ・地区の防災意識向上プログラム開催
  - ・小学校出前講座実施
  - ・地区・住民主導の避難訓練の実施
- 福井市避難支援プラン（避難行動要支援者避難支援制度）の推進【福井市】
  - ・個別避難計画の作成推進
- 帰宅困難者支援協定【富山県、石川県】
- 災害ボランティアコーディネーター養成研修会の実施【石川県】
  - ・災害ボランティアコーディネーターの養成
- 災害ボランティアバンク登録制度の実施【石川県】
- 災害ボランティア体験入門講座の実施【石川県】



■取組み事例 自主防災組織の充実等【富山市】

継続的な取組み

自主防災組織とは、地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的に結成する組織であり、富山市では、出前講座や自主防災組織活動事業補助金の交付等の補助を行っている。

〈富山市における自主防災組織の組織率〉

令和7年1月末現在

	組織数	人口	組織内世帯数(イ)	世帯数(ロ)	組織率(イ)／(ロ)
富山地域	398	312,965	115,206	148,643	77.5%
大沢野地域	52	21,026	6,448	9,242	69.8%
大山地域	13	8,607	2,496	3,672	68.0%
八尾地域	36	17,809	4,461	7,490	59.6%
婦中地域	92	40,604	16,593	16,593	100.0%
山田地域	9	1,207	355	496	71.6%
細入地域	10	1,085	487	487	100.0%
全体	610	403,303	146,046	186,623	78.3%

※人口及び世帯数は住民基本台帳より

出典：自主防災組織とは, 富山市

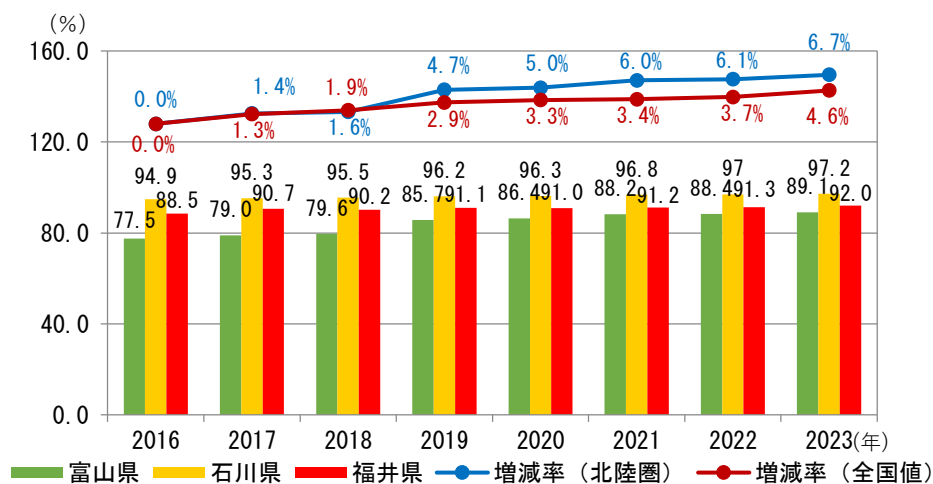
(<https://www.city.toyama.lg.jp/bosai/bosai/1010655/1010659/1007925.html>)

### (3) 計画の進捗状況

#### 1) 地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化

##### ■モニタリング指標：自主防災組織活動カバー率（％）

北陸圏の2023年(令和5年)における自主防災組織活動カバー率は、2016年(平成28年)と比較すると6.7%増加しており、全国値(4.6%増加)よりも増加している割合が高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：消防庁「消防白書」

図 39 自主防災組織活動カバー率の推移

(2024年10月時点の公表データ)

## 2.1.4 北陸の多彩な自然環境保全プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏のシンボルである立山・黒部や白山等の豊かな自然環境や豊富な水を育む水源涵養機能を保全していくため、山岳地域の自然環境の保全や流域圏全体の連携による水系一貫における水循環の維持又は回復、さらには、これら自然環境保全に関する意識啓発を推進する。また、北陸の美しい白砂青松の海岸環境を次世代に継承していくため、砂浜の減少等が進む海岸景観の保全・再生や海辺に親しめる海岸づくり、貴重な湿地、島等が育む渡り鳥等の野生生物の生態系ネットワークの保全を推進する。さらに、昨今、地球温暖化の進行による生態系等への影響が危惧される中で、日本海沿岸地域にあっても顕在化する大型クラゲ、黄砂、酸性雨等の環境問題解決への取組みを強化することを目的としている。

### (1) 立山・黒部や白山等山岳地域の自然環境保全

#### ① 山岳地域の自然環境の保全

[継続的な取組み]

##### ○立山・黒部地域の環境保全の取組み【富山県】

- ・「とやまの山岳環境整備ボランティア」を募集し、登山道の安全対策や外来植物除去活動の継続的な実施
- ・立山におけるバスの排出ガス規制の継続的な実施

##### ○希少野生動植物の保護対策事業の推進（ライチョウ）

###### 【富山県】

- ・第7次とやまのライチョウサポート隊を発足し、県民協働による保護活動を継続

###### 【石川県】

- ・環境省の保護増殖事業で、いしかわ動物園がライチョウの人工繁殖に取り組む

###### 【岐阜県】

- ・ライチョウに関する公式 YouTube や公式 LINE を開設し、情報発信の体制を強化

###### 【中部森林管理局】

- ・高山植物等保護パトロールを実施

##### ○黒部川土砂管理協議会の取組み【北陸地方整備局、関西電力】

###### <第54回黒部川土砂管理協議会>

- ・実施場所：黒部市生涯学習文化スクエア 1F 大ホール
- ・実施時期：R5年5月23日（火）13：30～15：20

###### <第55回黒部川土砂管理協議会>

- ・実施場所：黒部市国際文化センター マルチホール
- ・実施時期：R6年2月14日（月）13：30～15：30

##### ○水質汚濁対策連絡協議会の開催【北陸地方整備局、近畿地方整備局】

- ・富山一級水系水質汚濁対策連絡協議会による水質事故対策訓練を実施（R5.12月）

##### ○砂防工事現場の安全対策・創意工夫の取組み【北陸地方整備局】

- ・神通川水系砂防令和5年度工事安全施工管理研究発表会
- ・令和5年度立山砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会（R6.2月）
- ・第35回金沢河川国道事務所建設労働災害防止大会（R5.9月）

○神通川自然再生計画【北陸地方整備局】

- ・神通川自然再生事業の推進

## ② 自然環境保全に関する意識啓発

[継続的な取組み]

○いしかわ自然学校の実施【いしかわ自然学校】

○手取川アウトドア教室【北陸地方整備局】

○小学生による水質調査【北陸地方整備局】

- ・神通川水系熊野川（R5.7月）
- ・梯川（R5.8月）

## (2) 日本海沿岸地域の環境保全

### ① 海岸景観の保全・再生

[継続的な取組み]

○石川海岸直轄海岸保全施設整備事業【北陸地方整備局】

- ・石川海岸侵食・越波対策の推進（小松工区・片山津工区）

○押水羽咋海岸侵食対策事業（千里浜海岸）【石川県】

○千里浜再生プロジェクト【石川県】

- ・陸上養浜、海上投入

○環日本海地域における環境保全の推進（漂流・漂着物調査）【富山県、（公財）環日本海環境協力センター（NPEC）】

- ・海辺の漂着物調査

○クリーン・ビーチ・いしかわ清掃活動【クリーン・ビーチ・いしかわ実行委員会】

- ・海岸清掃活動、漂流物展示の実施

### ② 野生生物の生態系ネットワークの保全

[継続的な取組み]

○生物多様性保全に関する各種施策の推進（三方五湖自然再生協議会外来生物等対策部会）

【中部地方環境事務所、福井県、若狭町、美浜町】

○三方五湖の自然再生（三方五湖自然再生協議会）

- ・自然再生協議会

### ③ 大型クラゲ、黄砂、酸性雨等の環境問題解決への取組み強化

[継続的な取組み]

○大型クラゲ対策の強化【福井県】

- ・調査船による洋上調査
- ・大型クラゲ目視調査
- ・大型クラゲトロール調査
- ・海洋観測（流向流速・水温塩分）

- ・情報発信（ファックスおよびホームページ）
- ・係留系観測
- 環日本海地域における環境保全の推進（技術員の交流、北東アジア地域環境体験プログラム事業）【富山県、（公財）環日本海環境協力センター(NPEC)】
- ・北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業（オンライン開催）

## ■取組み事例 希少野生動植物の保護対策事業の推進【中部森林管理局】

継続的な取組み

北アルプスの国有林において、希少な高山植物等の保護や山岳環境の美化を目的としたパトロールを継続して行っている。このパトロールは、昭和47年から毎年夏山繁忙期に行っており、富山森林管理署、地元自治体、山小屋関係者、運輸事業者等で構成する「国有林野保護管理協議会」がパトロール員を公募し、「立山」、「薬師岳・雲ノ平」、「黒部」、「白馬・朝日・北又」の4地区において実施している。

### <主な活動内容>

- ・違反行為者への注意指導（登山道外への踏み込み、指定地外キャンプ、植物採取等）
- ・利用者へ高山植物等保護を呼びかける啓発活動（ストックキャップの着用等）
- ・高山植物等保護のための立入禁止柵（グリーンロープ）の整備
- ・植生被害の拡大防止（置き石による脇道の封鎖等）
- ・看板、道標等の補修
- ・ゴミの回収を中心とした山岳美化活動
- ・植生保護、登山者安全確保のための雪渓切り
- ・ライチョウの生息状況の記録
- ・登山道、看板等の状況確認

[グリーンロープの設置]



[利用者への普及啓発運動]



[ゴミ拾い]



[ライチョウの生息状況の記録]



出典：令和5年度 高山植物等保護パトロール活動報告, 中部森林管理局富山森林管理署  
(<https://www.rinya.maff.go.jp/chubu/toyama/attach/pdf/gurin1-6.pdf>)

■取組み事例 クリーン・ビーチ・いしかわ清掃活動

継続的な取組み

【クリーン・ビーチ・いしかわ実行委員会】

「クリーン・ビーチいしかわ」は、石川県の海岸線 583km をきれいにする海岸愛護運動で、毎年春に行われる海岸清掃「春の統一デー」（県民一斉海岸清掃デー）をはじめ県内各地での海岸清掃と、ラジオ放送を通じた海岸清掃への呼びかけや啓発を主な活動としている。

令和5年度は、「クリーン・ビーチいしかわ in はくさん」（開催日：R5年5月28日（土））と「クリーン・ビーチいしかわ in かなざわ」（開催日：令和5年5月29日（日））を実施している。

[クリーン・ビーチいしかわ in はくさん]

・実施日： R5年5月27日（土） 9:00～10:30 ・参加人数：600人

[クリーン・ビーチいしかわ in かなざわ]

・実施日： R5年5月28日（日） 9:00～10:30 ・参加人数：600人



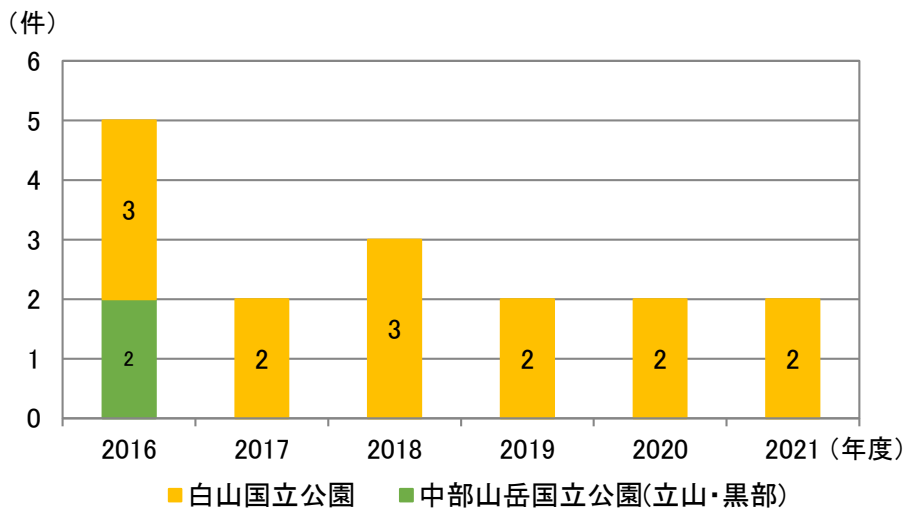
出典：クリーン・ビーチいしかわ(<https://www.cleanbeachishikawa.com/?m=202305>)

(3) 計画の進捗状況

1) 立山・黒部や白山等山岳地域の自然環境保全

■モニタリング指標：自然ふれあい行事の開催件数と参加人数(件、人)

白山国立公園では、2021年度(令和3年度)は2件(参加人数：33人)の自然ふれあい行事を開催しており、継続的に自然ふれあい行事を開催している。

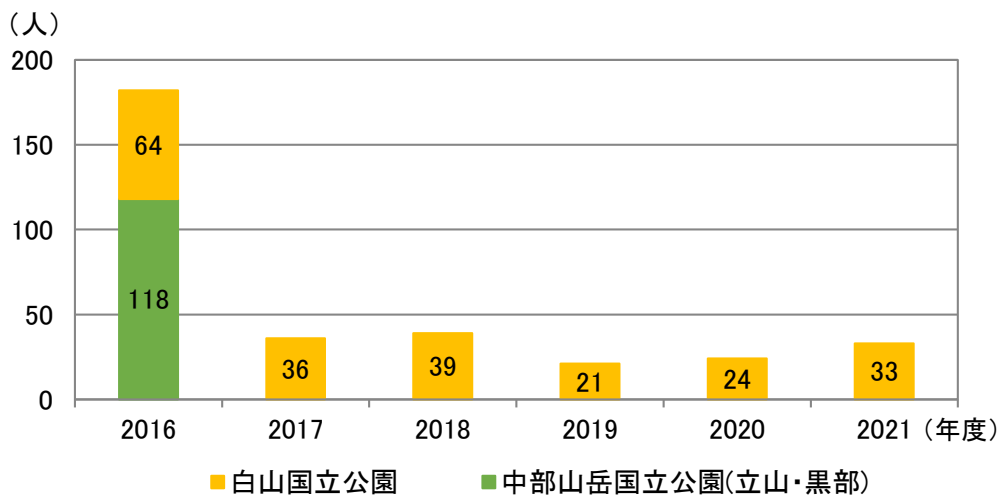


出典：中部地方環境事務所

図 40 自然ふれあい行事の開催件数の推移

(2022年12月末時点のデータ)

■モニタリング指標：自然ふれあい行事の参加人数(人)



出典：中部地方環境事務所

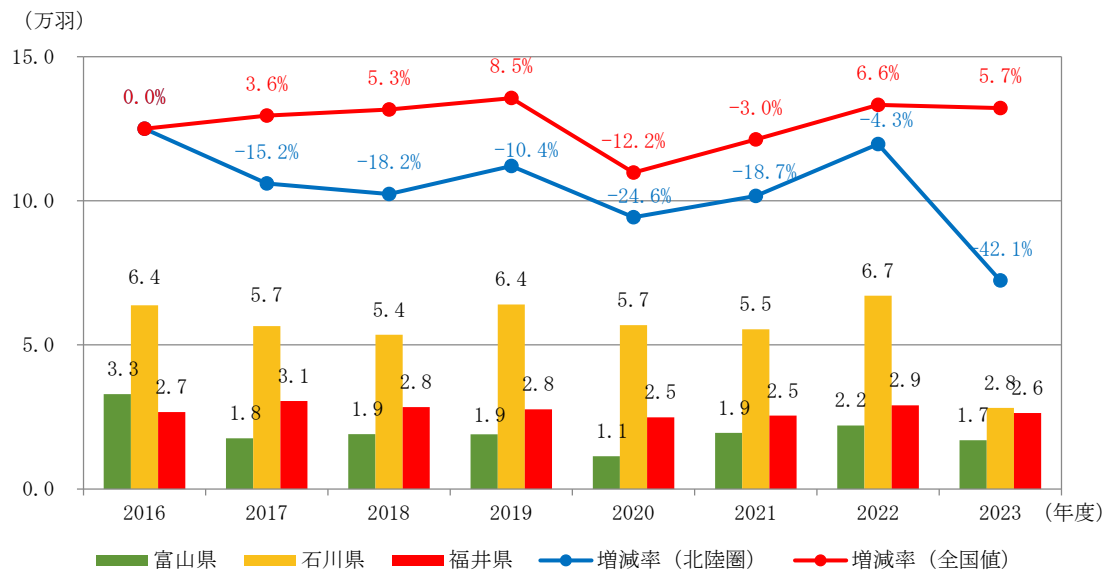
図 41 自然ふれあい行事の参加人数の推移

(2022年12月末時点のデータ)

## 2) 日本海沿岸地域の環境保全

### ■モニタリング指標：各県別の渡り鳥の飛来数（羽）

北陸圏の2023年度(令和5年度)における渡り鳥の飛来数は、2016年度(平成28年度)と比較すると42.1%減少した。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：環境省「ガンカモ類の生息調査」

図 42 渡り鳥の飛来数の推移

(2024年12月時点の公表データ)

## 2.1.5 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏における原子力及びエネルギー分野の最先端技術の集積を活かして、他分野との連携や産学官連携等によるがん治療、次世代エネルギー、新品種開発等に活用される最先端エネルギー分野の新技术開発と新事業の創出に取り組む。また、先駆的なモデルとなる環境にやさしい暮らしの普及・定着を推進するとともに、エネルギー技術と環境技術の集積拠点を形成することを目的としている

### (1) 主な取組み状況

#### ① 最先端エネルギー分野の新技术開発と新事業の創出

[継続的な取組み]

- 福井県若狭湾エネルギー研究センターにおける先端的な研究の推進【福井県、(公財)若狭湾エネルギー研究センター】
  - ・県内外の大学や研究機関、企業との共同研究
  - ・原子力・エネルギー、環境関連技術分野での新たな製品化
- 農業用水等を利用した小水力発電の推進【富山県】
- 地熱発電の推進【富山県】
  - ・立山温泉地域地熱資源開発調査
- 発電所の大規模改良（リプレース）【富山県】
  - ・老朽化した県営水力発電所（4箇所）について、固定価格買取制度（FIT）を活用したリプレースに着手

#### ② 環境にやさしい暮らしの普及・定着に向けた取組み

[継続的な取組み]

- 環境モデル都市について計画に基づき事業を推進【富山市】
- 富山市エコタウン事業について計画に基づき事業を推進【富山市】
- とやまエコ・ストア制度の推進【富山県】
  - ・レジ袋無料配布廃止や資源物の店頭回収、プラスチックトレイの削減・転換など県民と協働で環境配慮行動に取り組む小売店舗を登録
- いしかわモデルのメタン発酵技術の推進【石川県】
- 地球環境の保全、資源エネルギーの有効利用に関する普及啓蒙活動（北陸環境共生会議による循環型社会・低炭素社会の実現に向けた取組み継続）【北陸環境共生会議（富山県、石川県、福井県、北陸経済連合会で構成）】
  - 【北陸経済連合会】
    - ・北陸三県環境フェアへの出展
  - 【石川県】
    - ・いしかわ環境フェア 2023 を開催し一般県民への普及啓蒙を実施
- 中部エネルギー・温暖化対策推進会議【中部経済産業局、中部地方環境事務所】
  - ・H17年4月に閣議決定された「京都議定書目標達成計画」において、「地域エネルギー・温暖化対策推進会議」を各地域ブロックごとに設置すると定められ、当地域では「中部エ

エネルギー・温暖化対策推進会議」を設置して毎年度開催

- ・R5年11月17日に第19回中部エネルギー・温暖化対策推進会議をハイブリット形式で開催

○近畿エネルギー・温暖化対策推進会議【近畿経済産業局、近畿地方環境事務所】

- ・近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議とは、近畿地域において国の地方支分部局、域内の地方公共団体、エネルギー関係者等をメンバーとして、近畿地域におけるエネルギー・温暖化対策に関する情報交換・共有や、エネルギー需給構造に関する実態把握等を図り、地方公共団体を始め近畿地域の地球温暖化対策に関する自主的な取組みを促進するために、H17年3月31日に設置し、「近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議」を毎年度開催

- ・R5年12月19日に第19回近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議を開催

■取組み事例 地球環境の保全、資源エネルギーの有効利用に関する普及啓蒙活動【石川県】

継続的な取組み

○いしかわ環境フェア 2023 の開催

「いしかわ環境フェア」は、環境に関する様々な展示や体験を通じて、県民の皆様に「見て」「触れて」「体験して」楽しみながら、環境について広く理解を深める契機となることを目的としている。

R5年度は「みんなでストップ温暖化～カーボンニュートラルにつながる新しい豊かな暮らしへ～」をテーマに開催された。

The poster for the 'いしかわ環境フェア2023' (Ishikawa Environment Fair 2023) and 'いしかわ近未来の環境技術展2023' (Ishikawa Near-Future Environment Technology Exhibition 2023) provides the following details:

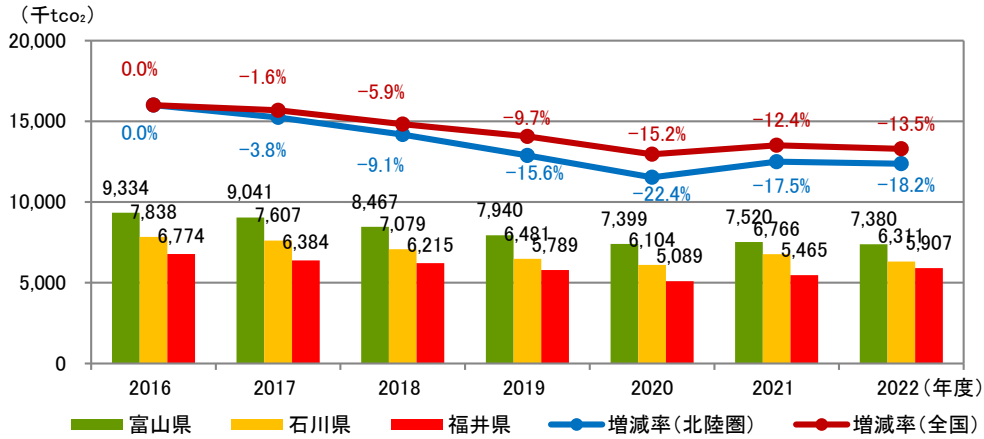
- Theme:** みんなでストップ温暖化 (Everyone stops global warming) / カーボンニュートラルにつながる新しい豊かな暮らしへ (Towards a new, rich life connected to carbon neutrality)
- Location:** 石川県産業展示館4号館 (Ishikawa Prefecture Industry Exhibition Center 4th Hall)
- Dates:** 令和5年 8月26日(土) 27日(日) (August 26-27, 2023)
- Time:** 9:30～16:30
- Admission:** 入場無料 (Free admission)
- Activities:**
  - 資源回収コーナー (Resource Recycling Corner)
  - フードドライブ (Food Drive)
  - 26日主なステージイベント (Main Stage Events on 26th): 環境対談 (Environment Dialogue), チャリヘル・コレクション (Charity Bike Collection), Kids' Quiz (キッズクイズ), Water Hydrogen Car Park (水素キッズパーク), and more.
  - 27日主なステージイベント (Main Stage Events on 27th): ぶんぶんボウル (Fun Fun Bowl), Charity Bike Collection (チャリヘル・コレクション), and more.
  - 最新EV・PHV展示&試乗コーナー (Latest EV/PHV Display & Test Drive Corner) featuring cars like BYD ATTO3, 日産サクラ (Nissan Sakura), 三菱アウトランダーPHEV (Mitsubishi Outlander PHEV), MAZDA MX-30 EV MODEL, and VOLVO XC40 Recharge.
  - ZEH&エコリビングフェア (ZEH & Eco Living Fair)
  - もったいない市 (Don't Waste City)
- Website:** <https://www.eco-partner.net/information/environ-fair>
- Contact:** (お問い合わせ) (公)社 いしかわ環境パートナーシップ県民会議 ☎076-266-0881 (9:00～17:00 月曜・祝日除く)

出典：いしかわ環境フェア 2023 / いしかわ近未来の環境技術展 2023, 石川県  
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/fair/fair2023.html>

(2) 計画の進捗状況

■モニタリング指標：①エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量（人口 1 人あたりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量）

北陸圏の 2022 年度(令和 4 年度)における人口 1 人あたりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量は、2016 年(平成 28 年度)と比較すると 18.2%減少しており、全国値(13.5%減少)よりも減少している割合が高くなっている。



※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

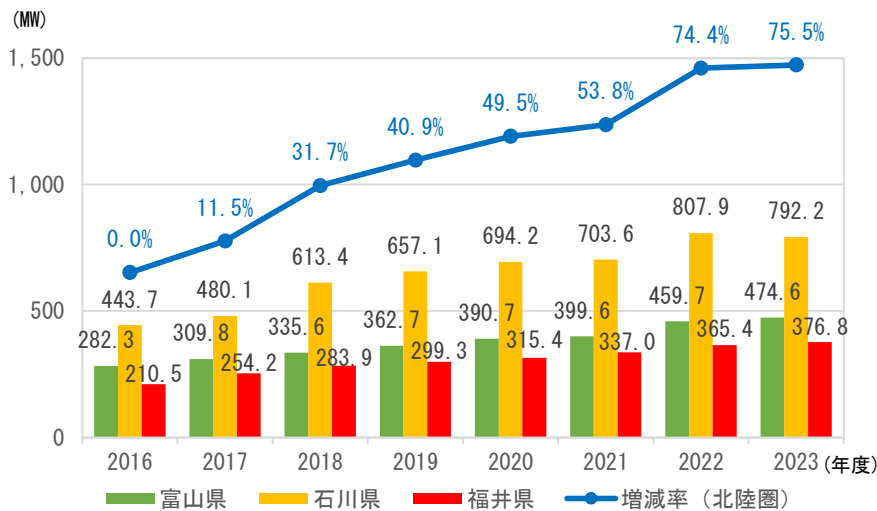
出典：資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計」(2022 年度は暫定値)

図 43 エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量（人口 1 人あたりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量）の推移

(2024 年 12 月時点の公表データ)

■モニタリング指標：②再生可能エネルギー設備認定状況

北陸圏の 2023 年度(令和 5 年度)における再生可能エネルギー設備認定状況(導入容量)は、2016 年度(平成 28 年度)と比較すると 75.5%増加している。2023 年度(令和 5 年度)の北陸 3 県の中で最も導入容量が多いのは石川県(792.2MW)である。



※増減率は対 2016 年(平成 28 年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：資源エネルギー庁「都道府県別再生可能エネルギー設備認定状況」

(「新規認定分」と「移行認定分」の合計値)

図 44 再生可能エネルギー設備認定状況（導入容量）の推移

(2024 年 10 月時点の公表データ)

## 2.1.6 東アジアに展開する日本海中枢圏域形成プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏の有する三大都市圏や環日本海諸国を始めとする東アジアに対する地理的な優位性を活かして、日本海側の産業・物流の中枢拠点機能を強化するため、地域レベルでは日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化、三大都市圏や環日本海諸国レベルでは近接性を活かした東アジア等の諸外国に展開する国際物流機能の強化を推進することを目的としている。

### (1) 日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化

#### ① 医薬、繊維等の地域産業を牽引する産業クラスターの形成に向けた取組み

[継続的な取組み]

- とやま中小企業チャレンジファンド【(公財) 富山県新世紀産業機構】
- いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド【石川県、(公財) 石川県産業創出支援機構】
- 「ふくいの逸品創造ファンド」による地域貢献産業の創出【(公財) ふくい産業支援センター】
- 北陸高機能新素材クラスター構想【石川県、(公財)石川県産業創出支援機構】
  - ・コンポジットハイウェイコンベンションの開催 (R6年1月16日 名古屋大学)

#### ② 北陸圏の産業ニーズを踏まえた人材育成・人材確保及び産学官や異分野連携等による中小企業の活性化

[継続的な取組み]

- 伝統工芸職人塾（伝統工芸の各産地が丹南地域に集積している特色を活かし、産地が連携して職人の育成や産地の魅力向上に取り組むことにより、伝統的工芸品の知名度向上と需要拡大を図る。）【越前ものづくりの里プロジェクト協議会】

### (2) 三大都市圏との近接性を活かし、環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進

#### ① 広域的な産業連携を通じた国際物流機能の強化

[継続的な取組み]

- インセンティブ等を活用した積極的なポートセールスによる港の利用促進【富山県】
  - 〈伏木富山港利用促進セミナー等の実施〉
    - ①伏木富山港現地視察会 (R5年8月7日(月))
- 伏木富山港（新湊地区）国際物流ターミナルの整備【北陸地方整備局、富山県】
  - ・伏木富山港（新湊地区）ふ頭再編整備事業の推進
- 金沢港（大野地区）国際物流ターミナルの整備【北陸地方整備局、石川県】
  - ・国際物流ターミナル整備事業の推進
- 七尾港（大田地区）国際物流ターミナルの整備【北陸地方整備局、石川県】
  - ・国際物流ターミナル整備事業の推進
- 敦賀港（鞠山南地区）国際物流ターミナルの整備【北陸地方整備局、福井県】

- ・国際物流ターミナル整備事業の推進

## ② 国際物流機能を活かした環日本海交流の中核となる企業誘致

[継続的な取組み]

- 対岸諸国と北陸地域との経済交流促進に向けての情報収集・発信
  - 【北陸経済連合会・北陸環日本海経済交流促進協議会】
  - ・機関紙 Warm TOPIC(6冊/年)による東アジアに関する情報の発信

## ③ 荷主に信頼される物流ネットワークの構築

[継続的な取組み]

- 路面状況のリアルタイム映像など雪みち情報の提供
  - 【北陸地方整備局】
  - ・「雪みちネットワーク富山」による冬期道路情報の提供
  - ・富山河川国道事務所公式Xによる道路情報の提供
  - ・「みちナビ石川」による冬期道路情報の提供
  - ・金沢河川国道事務所公式Xによる道路情報の提供
  - ・「おしえて！雪ナビ」ホームページによる情報提供
  - ・「雪のトップランナー」ホームページによる情報提供
  - 【富山県】
  - ・「富山県冬期道路情報」による冬期道路情報の提供
  - 【石川県】
  - ・冬期間の道路画像や積雪・気温の情報を、県HP『石川の雪みちナビ』にて、パソコンやスマートフォンを通じ広く情報提供

■取組み事例 「ふくいの逸品創造ファンド」による地域貢献産業の創出  
 【(公財)ふくい産業支援センター】

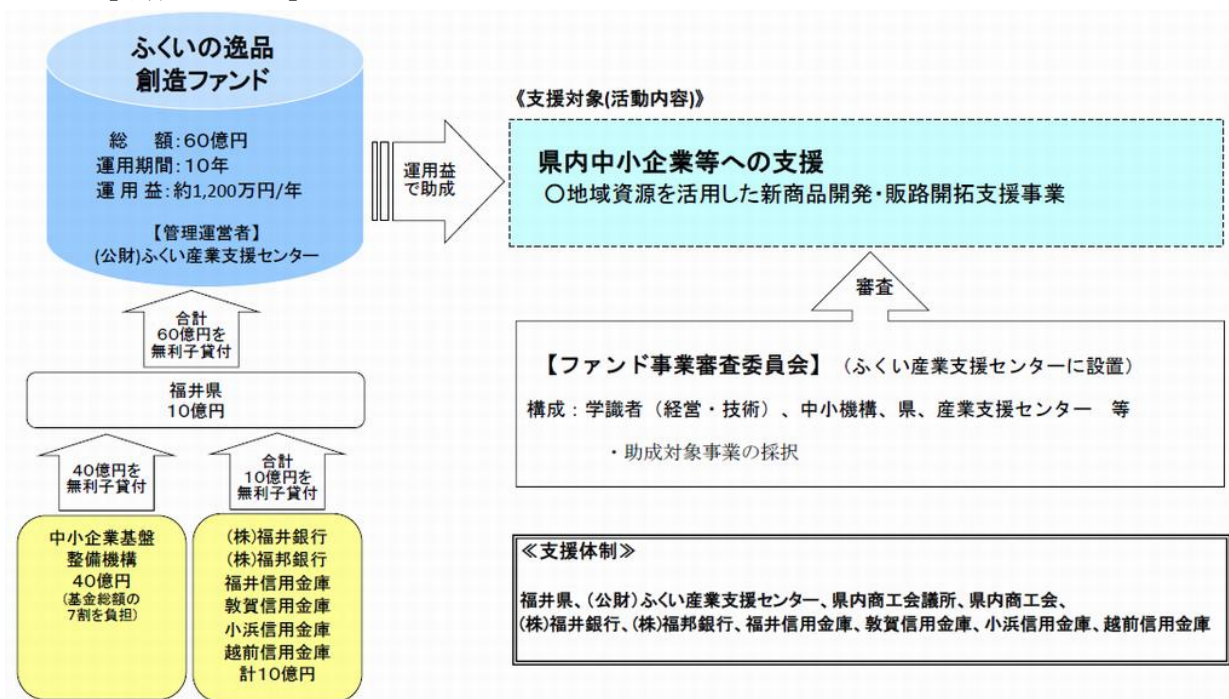
継続的な取組み

○ふくいの逸品創造ファンド事業

地域の産業技術、農林水産物、観光資源等の「ふくいの強み」を活かした新商品・新サービス（ふくいの逸品）を開発し、県内外の顧客を獲得する取組みを促進するため、福井県では、(独)中小企業基盤整備機構、県、県内金融機関による総額 60 億円の「ふくいの逸品創造ファンド」(基金)を創設している。

この運用益を活用し、中小企業等が行う創意工夫ある取組みに対し、新商品・新サービスの開発・販路開拓について助成を行っている。

[事業イメージ]



出典：ふくいの逸品創造ファンド事業について, 福井県

(<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/sansei/ippinfund.html>)

■取組み事例 金沢港（大野地区）国際物流ターミナルの整備  
【北陸地方整備局】

継続的な取組み

○金沢港（大野地区）国際物流ターミナル整備事業の推進

金沢港の背後及び背後圏には、建築機械・産業機械等を製造・輸出する企業が多数立地しているが、以前の既存岸壁の最大水深は10mと、産業機械等の大型機械の取扱（輸出）には水深が不足しており、大型船が入港可能な他の港湾まで長距離を陸送する非効率な輸送を余儀なくされていた。

このような非効率な輸送を解消し、地域産業の国際競争力強化に資することを目的に、水深13mの国際物流ターミナルの整備を実施しており、現在は、岸壁（400m）が完成（航路暫定水深12m）し、大型の自動車運搬船及び大型クルーズ船の寄港が可能となった。



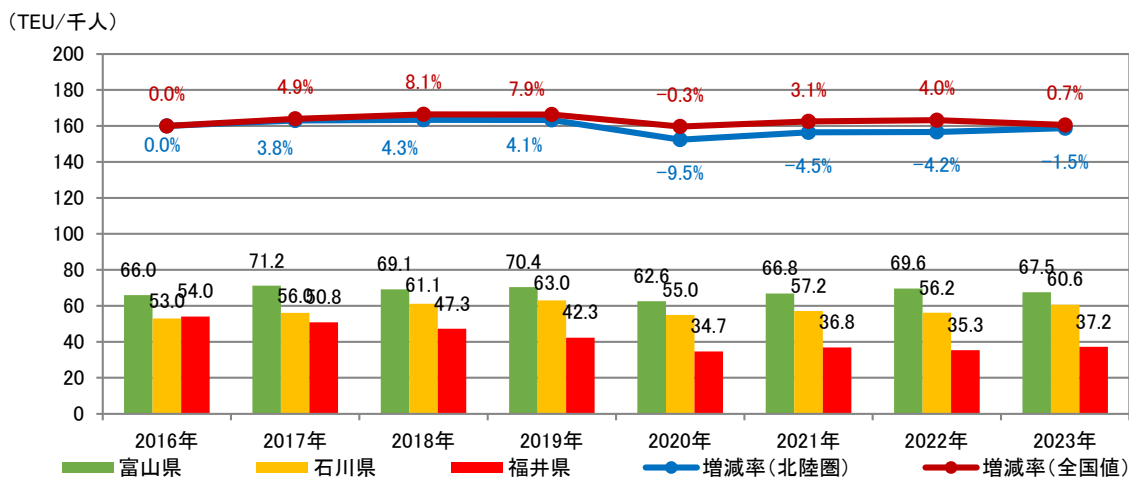
出典：金沢港 大野地区国際物流ターミナル整備事業, 金沢港湾・空港整備事務所  
(<https://www.kanazawa.pa.hrr.mlit.go.jp/114/115/117/>)

(3) 計画の進捗状況

1) 日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化

■モニタリング指標：外貿コンテナ取扱個数（人口千人あたり外貿コンテナ取扱個数）

北陸圏の2023年(令和5年)における人口千人あたり外貿コンテナ取扱個数は、2016年(平成28年)と比較すると1.5%減少している一方で、全国は0.7%増加している。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：国土交通省「港湾統計」総務省「人口推計」

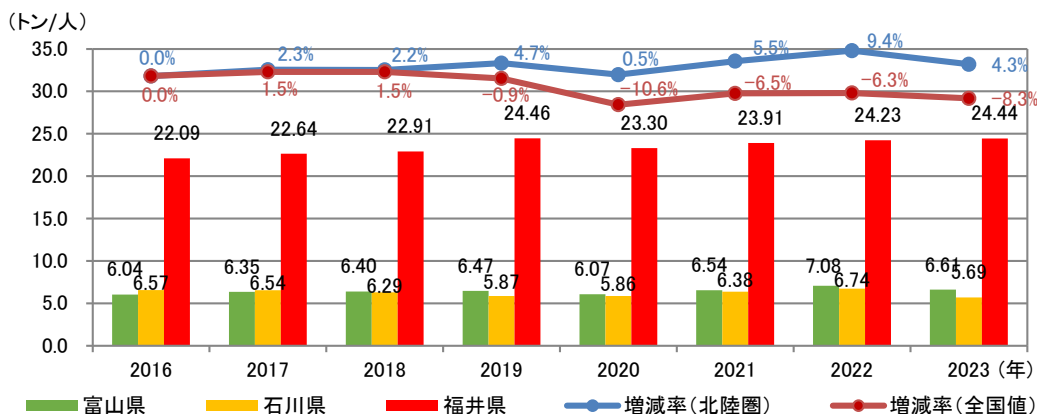
図 45 外貿コンテナ取扱個数（人口千人あたり外貿コンテナ取扱個数）の推移

(2024年12月時点の公表データ)

2) 環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進

■モニタリング指標：港湾の取扱貨物量（人口1人あたり港湾の取扱貨物量）

北陸圏の2023年(令和5年)における人口1人あたり港湾の取扱貨物量は、2016年度(平成28年度)と比較すると4.3%増加しており、全国値は2023年(令和5年)に8.3%減少している。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：国土交通省「港湾統計」総務省「人口推計」

図 46 港湾の取扱貨物量（人口1人あたり港湾の取扱貨物量）の推移

(2024年12月時点の公表データ)

## 2.1.7 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏の豊かな自然環境と水資源が育む、豊かで多様な農林水産資源や食文化を活かして、富山・加賀・福井平野を中心とした高生産性優良農業地域において、担い手の育成と担い手への農地の利用集積・集約化を図るとともに、農業水利施設の適切な保全管理、計画的かつ効率的な補修、更新等による施設の長寿命化を行うなど、良好な営農条件の確保により、圏域の食料供給力を強化する。また、消費者に信頼される高品質な「北陸ブランド」を構築し、知名度の向上や食関連産業を強化するとともに、国内外に展開する流通・販路網の開拓・拡充の促進、さらには、農水産物の圏域内における地産地消の推進による自給率の向上を図ることを目的としている。

### (1) 食料供給力の強化

#### ① 良好な営農条件の確保

[継続的な取組み]

- 担い手への農地集積・集約化を促進するための支援（農地中間管理事業等）【北陸農政局】
  - ・担い手や県、市町村、農業委員会などの関係機関に積極的に働きかけ、農地中間管理事業を柱とした担い手への農地集積を推進
  - ・R5年度末における管内の担い手への農地集積面積は9万4千ha、担い手への農地利用集積率は67.8%となり全国平均60.4%を上回った
  - ・農地の大区画化や排水対策、農業水利施設の整備等を行うとともに、担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化等を推進
  - ・農地中間管理事業の重点実施区域等において、農地中間管理機構と連携しつつ、担い手への農地集積の推進や高収益作物への転換を図るための計画策定や基盤整備、営農定着に必要な取組みを一括支援
- 農地等の防災対策【北陸農政局】
  - ・農地の湛水被害軽減など災害の未然防止のため農村地域防災減災事業を推進
- 土地改良施設管理の強化【北陸農政局】
  - ・基幹水利施設管理事業（特別型）：都道府県が行う一定規模以上の国営造成施設の管理
  - ・基幹水利施設管理事業（一般型）：市町村等が行う基幹的な国営造成施設の管理
  - ・国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業（機能保全計画策定事業）  
国営土地改良事業で造成された基幹的農業水利施設について、機能診断の実施
  - ・国営造成施設管理体制整備促進事業  
国営造成施設及び附帯県営造成事業を管理する土地改良区等の管理体制の整備
- 農業水利施設の保全管理・整備を推進【北陸農政局】
  - ・国営かんがい排水事業
  - ・国営農地再編整備事業
  - ・国営総合農地防災事業

#### ② 農林水産業の担い手の育成

[継続的な取組み]

- 担い手（認定農業者、集落営農組織）の育成・確保を推進【北陸農政局】
- 経営所得安定対策等の着実な推進【北陸農政局】

## (2) 「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路網の開拓・拡充

### ① 地産地消の推進

[継続的な取組み]

- ディスカバー農山漁村（むら）の宝の選定【北陸農政局】  
北陸管内選定（R5年度：4件（富山県3件、福井県1件）←（R4年度：2件（石川県2件  
[+2件]）  
※「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、令和3年度まで実施の「地産地消等優良活動  
表彰」が令和4年度より統合されたもの

■取組み事例 担い手への農地集積・集約化を促進するための支援  
 (農地中間管理事業等)【北陸農政局】

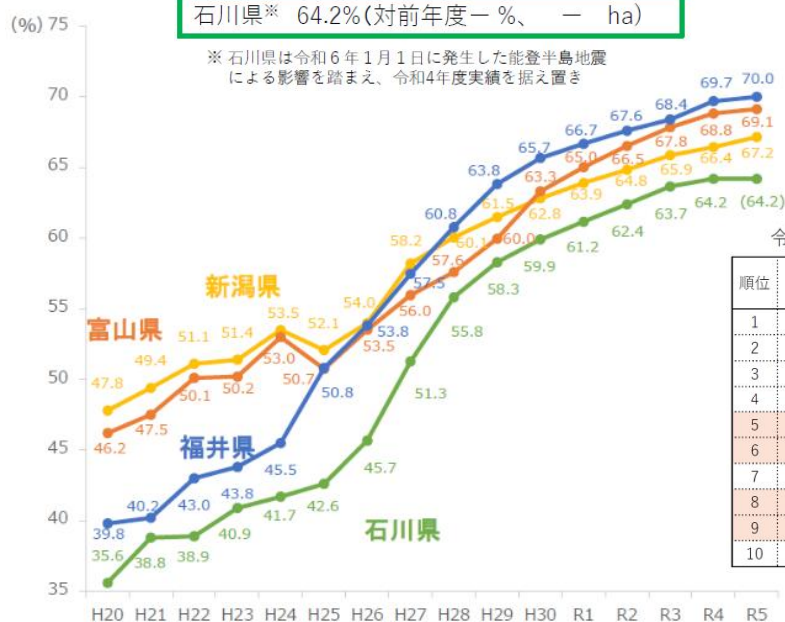
継続的な取組み

農業の高齢化が進む中で、担い手への農地利用の集積・集約化を図って行くことが喫緊の課題となっている。このため、農地の公的な中間的受け皿として、県段階に農地中間管理機構が整備され、農地中間管理事業の活用を柱に担い手への農地利用の集積・集約化を進めている。

▶管内の担い手への農地利用集積率 R5年度末：67.8% (R4年度末：67.7% [+0.1pt])

[北陸管内(県別)の農地集積の状況]

福井県	70.0%(対前年度+0.3%、+54ha)
富山県	69.1%(対前年度+0.3%、+109ha)
新潟県	67.2%(対前年度+0.8%、+866ha)
石川県*	64.2%(対前年度-、- ha)



令和5年度集積率 上位都道府県 (全国)

順位	都道府県	担い手への集積面積(ha)	集積率 (R5)	増減
1	北海道	1,046,972	91.8%	0.2%
2	秋田県	103,883	71.2%	△0.1%
3	山形県	80,649	71.1%	1.1%
4	佐賀県	35,391	70.9%	0.8%
5	福井県	27,723	70.0%	0.3%
6	富山県	39,958	69.1%	0.3%
7	滋賀県	33,883	67.8%	2.0%
8	新潟県	112,286	67.2%	0.8%
9	石川県	25,938	64.2%	0.0%
10	宮城県	79,503	63.9%	1.5%

出典：北陸における農地中間管理機構の実績等について（令和5年度），北陸農政局  
 (<https://www.maff.go.jp/hokuriku/keiei/attach/pdf/kikou-16.pdf>)

○ディスカバー農山漁村（むら）の宝の選定

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものである。

※「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、令和3年度まで実施の「地産地消等優良活動表彰」が令和4年度より統合されたもの

➤北陸管内選定 R5年度：4件（富山県：3件、福井県：1件）  
（R4年度：2件（石川県2件 [+2件]））

[選定事例①] 社会福祉法人フォーレスト八尾会

- ・かつては町が養蚕業で栄えたことに着目し、桑畑の再生や桑のリブランディングに取り組む
- ・中山間地の耕作放棄地を活用した桑栽培は環境保全・鳥獣害対策となっている



ツアーでの収穫体験と桑を使った料理



令和3年より、桑のリブランディング



ハウス栽培のリーフ・フラワー類と料理の一例

[選定事例②] トレボー株式会社

- ・インターナショナルワインチャレンジや日本ワインコンクール等で受賞したほか、魅力的な景観との融合を目指した醸造工場は富山県景観広告大賞を受賞
- ・ぶどう栽培は14haまで拡大し、農業を引退した高齢者を春から秋まで雇用



魅力的な景観との調和を目指した設計



観光客への訴求を目指した内装



無人ローバーやドローンの活用に挑戦

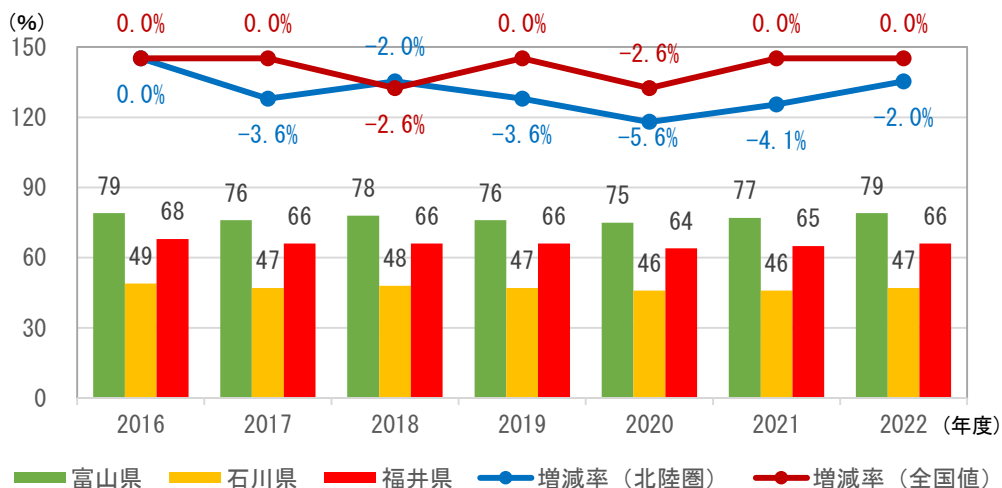
出典：「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」第10回選定結果の公表について、農林水産省  
([https://www.discovermuranotakara.com/sentei/jirei/link/jirei\\_sentei\\_10\\_low.pdf](https://www.discovermuranotakara.com/sentei/jirei/link/jirei_sentei_10_low.pdf))

### (3) 計画の進捗状況

#### 1) 食料供給率の強化

##### ■モニタリング指標：食料自給率（カロリーベース：％）

北陸圏の2022年度(令和4年度)における食料自給率(カロリーベース)は、2016年度(平成28年度)と比較すると2.0%減少している一方で、全国値は同水準(±0.0%)である。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：農林水産省「都道府県別食料自給率の推移(カロリーベース)」※2022年度は概算値

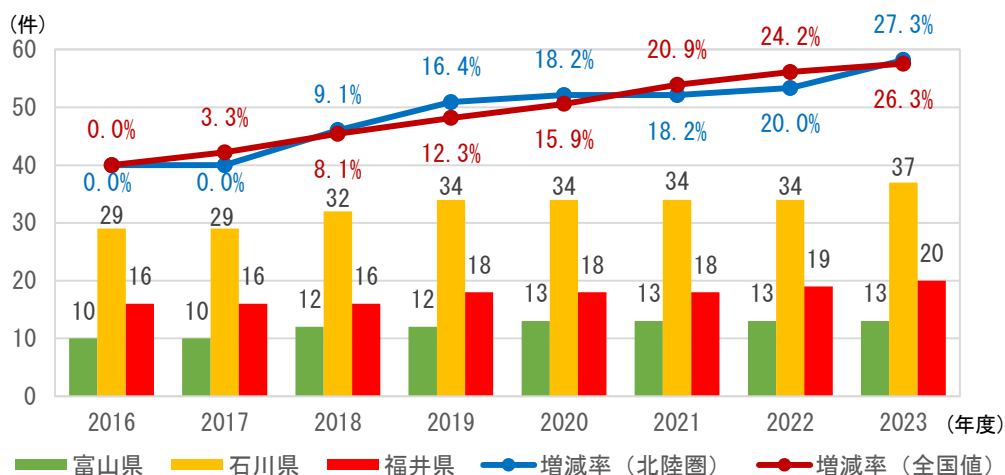
図 47 食料自給率(カロリーベース：％)の推移

(2024年10月時点の公表データ)

#### 2) 「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路開拓・拡充

##### ■モニタリング指標：地域団体商標登録数

北陸圏の2023年(令和5年)における地域団体商標登録数は、2016年(平成28年)と比較すると27.3%増加しており、全国値(26.3%増加)よりも増加している割合はやや高くなっている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：特許庁「特許庁行政年次報告書」

図 48 地域団体商標登録数の推移

(2024年10月時点の公表データ)

## 2.1.8 強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制の構築プロジェクト

本プロジェクトは、太平洋側で危惧される首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模災害時のバックアップ機能を担う広域的な防災支援体制の構築を推進することを目的としている。

### ① 防災ネットワークの構築

[継続的な取組み]

#### ○TEC-FORCE による防災支援【北陸地方整備局】

- ・石川県能登地方を震源とする地震に対する対応（R5年5月）
- ・6月29日からの大雨への派遣（R5年6月）
- ・7月15日からの大雨への派遣（R5年7月）
- ・台風第7号への派遣（R5年8月）
- ・台風第13号への派遣（R5年9月）
- ・R6年能登半島地震に対する対応（R6年1月）

#### ○災害対策用資機材情報の共有化【北陸地方整備局】

- ・R6年能登半島地震への派遣（R6年1月） car-SAT

#### ○多機関と連携した防災訓練

##### 【富山県】

- ・富山県総合防災訓練の実施（R5年8月27日）  
実施場所：富山県高岡市  
（R4年度 実施場所：富山県小矢部市 参加人数：約1,000人）

##### 【石川県】

- ・石川県防災総合訓練の実施（R5年11月11日、12日）  
実施場所：石川県能登町及びその周辺地域  
（R4年度 実施場所：石川県川北町、参加人数：約6,970人）

##### 【福井県】

- ・福井県総合防災訓練の実施（R5年10月7日）  
実施場所：福井県坂井市  
（R4年度 実施場所：福井県勝山市、参加人数：約1,150人）

#### ○広域バックアップ専門部会（経済団体、物流団体、港湾関連会社、学識経験者、地方公共団体、国の地方支分部局等）【北陸地方整備局】

- ・首都直下地震に対応したオンライン代替輸送訓練（R5.11）
- ・南海トラフ巨大地震に対応したオンライン代替輸送ワークショップ（R5.10）

### ② リダンダンシーの確保

[継続的な取組み]

#### ○中部縦貫自動車道の整備促進

##### 【近畿地方整備局】

- ・大野油坂道路の整備を推進（勝原IC～九頭竜IC間（延長9.5km）が令和5年10月28日に開通）

【中部地方整備局】

- ・高山清見道路の整備を推進
- 東海北陸自動車道の早期全線4車線化の推進

【富山県、岐阜県】

- ・付加車線設置工事

【岐阜県】

- 東海北陸自動車道に関する提言活動を実施
- ・東海北陸自動車道建設促進同盟
  - ・岐阜県東海北陸自動車道建設連絡協議会
- 伏木富山港（富山地区）耐震強化岸壁の整備【北陸地方整備局】
- ・伏木富山港（富山地区）において、耐震強化岸壁の整備を推進

## ■取組み事例 中部縦貫自動車道の整備促進【近畿地方整備局】

継続的な取組み

中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通過し、福井県に至る約160kmの高規格幹線道路（自動車専用道路）であり、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的としている。

大野油坂道路は、中部縦貫自動車道の福井県域を構成し、高速道路ネットワークの形成、異常気象時の交通の確保、文化・地域の資源を生かした地域の活性化を目的とした自動車専用道路であり、大野油坂道路（延長35.0km）の勝原IC～九頭竜IC間の延長9.5kmが、R5年10月28日に開通している。



出典：高規格幹線道路 中部縦貫自動車道, 長野国道事務所

(<https://www.ktr.mlit.go.jp/nagano/nagano00072.html>)

■取組み事例 広域バックアップ専門部会（経済団体、物流団体、

継続的な取組み

港湾関連会社、学識経験者、地方公共団体、国の地方支分部局等）【北陸地方整備局】

太平洋側の荷主企業及び物流の供給者が大規模災害時の代替輸送の有効性を認識するとともに「代替輸送基本行動計画」の実効性を高めるために、代替輸送訓練を実施している。想定する災害は、「首都直下地震」又は「南海トラフ地震」相当の地震として、令和5年度は令和4年度に引き続きオンラインシステム（2種類程度）によりそれぞれ訓練を行った。

＜訓練概要＞

首都直下地震：R5年11月1日(水) 13:00～17:00

南海トラフ巨大地震：R5年10月31日(火) 13:00～17:00

訓練会場：オンライン（Teams による参加）

別紙1

オンライン開催 大規模地震に対応した

## 外貿コンテナ代替輸送訓練の参加者募集

東日本大震災時には、日本海側港湾が太平洋側港湾の代替機能を発揮しました。今後発生が危惧されている太平洋側を震源とした地震の発生時に、日ごろ輸出入に利用している港湾が一時的に使用できない場合に事業継続を確保するため、平成25年度より外貿コンテナ代替輸送訓練を実施してきました。

今年度は新たな取り組みとして、「代替輸送訓練への参加」が事業継続力の向上に寄与しているか、評価項目と評価内容を事前に提示し、訓練目標を明確化することで結果が変化するか、といったことを検証していきます。

日にち **令和5年11月1日(水)**

時間 **13:00～17:00** [高松] 12:30 ※プログラム次第参加

会場 **オンライン(Teams)**

想定地震 **首都直下地震**  
※東京湾周辺の震災を想定

事前説明会 **令和5年10月23日(月) 14:30～15:30**  
※当日の訓練メニューを行うため、可能な限り事前説明会の参加をお願いします。

申込方法 以下のURLまたはQRコードにアクセスのうえ、申込フォームよりお申し込みください。  
<https://forms.gle/AVKzYnR2sTkrESqn7>

締め切り **令和5年10月17日(火)**

※URLからアクセスする場合は、1日先着順です。Google Chrome及びMicrosoft Edgeの最新バージョンにて、ブラウザの拡張機能のインストールが完了していること、また、お申し込みの際に必要事項を正しく入力してください。

予定定員 **約50名(先着順)** ※上場企業・法人等が優先的に参加させていただきます。

参加費 **無料** ※参加費補助金による参加費補助金の申請となります。

その他 TeamsのURLは後日メールにてお送りいたします。

別紙1

オンライン開催 大規模地震に対応した

## 内航フェリー・RORO船を活用した代替輸送ワークショップの参加者募集

東日本大震災時には、日本海側港湾が太平洋側港湾の代替機能を発揮しました。今後発生が危惧されている太平洋側を震源とした地震の発生時に、日ごろ輸出入に利用している港湾が一時的に使用できない場合に事業継続を確保するため、平成25年度より外貿コンテナ代替輸送訓練を実施してきました。

今年度は、新たな取り組みとして、内貿輸送に関するオンラインでのワークショップにより、大規模災害時に想定される物流状況の情報提供や代替輸送のデモンストラレーションについて意見交換を実施します。

日にち **令和5年10月31日(火)**

時間 **13:00～17:00** [高松] 12:30 ※プログラム次第参加

会場 **オンライン(Teams)**

想定地震 **南海トラフ巨大地震**  
※東京湾から九州地域までの海路等による被災を想定

事前説明会 **令和5年10月23日(月) 13:30～14:00**  
※当日の訓練メニューを行うため、可能な限り事前説明会の参加をお願いします。

申込方法 以下のURLまたはQRコードにアクセスのうえ、申込フォームよりお申し込みください。  
<https://forms.gle/AVKzYnR2sTkrESqn7>

締め切り **令和5年10月17日(火)**

※URLからアクセスする場合は、1日先着順です。Google Chrome及びMicrosoft Edgeの最新バージョンにて、ブラウザの拡張機能のインストールが完了していること、また、お申し込みの際に必要事項を正しく入力してください。

予定定員 **約50名(先着順)** ※上場企業・法人等が優先的に参加させていただきます。

参加費 **無料** ※参加費補助金による参加費補助金の申請となります。

その他 TeamsのURLは後日メールにてお送りいたします。

出典：大規模地震に対応した外貿コンテナ代替輸送訓練（オンライン）の参加者を募ります，北陸地方整備局（<https://www.hrr.mlit.go.jp/press/2023/9/230908kouwanbu02.pdf>）

大規模地震に対応した内航フェリー・RORO船を活用した代替輸送ワークショップ（オンライン）の参加者を募ります，北陸地方整備局

（<https://www.hrr.mlit.go.jp/press/2023/9/230908kouwanbu01.pdf>）

## ■取組み事例 多機関と連携した防災訓練【福井県】

継続的な取組み

### ○福井県総合防災訓練の実施

令和5年度福井県総合防災訓練がR5年10月7日に坂井市において開催された。

- (1)実施日：R5年10月7日(土)
- (2)実施場所：坂井市
- (3)主な訓練項目
  - 1)現地合同調整所運営訓練
  - 2)合同救出救助訓練（水難救助を含む）
  - 3)避難所開設運営訓練（福祉避難所を含む）
  - 4)広域医療搬送訓練
  - 5)救援物資輸送計画



出典：令和5年度福井県総合防災訓練を実施しました, 福井県

(<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kikitaisaku/051010.html>)

令和5年度福井県総合防災訓練の実施について, 坂井市

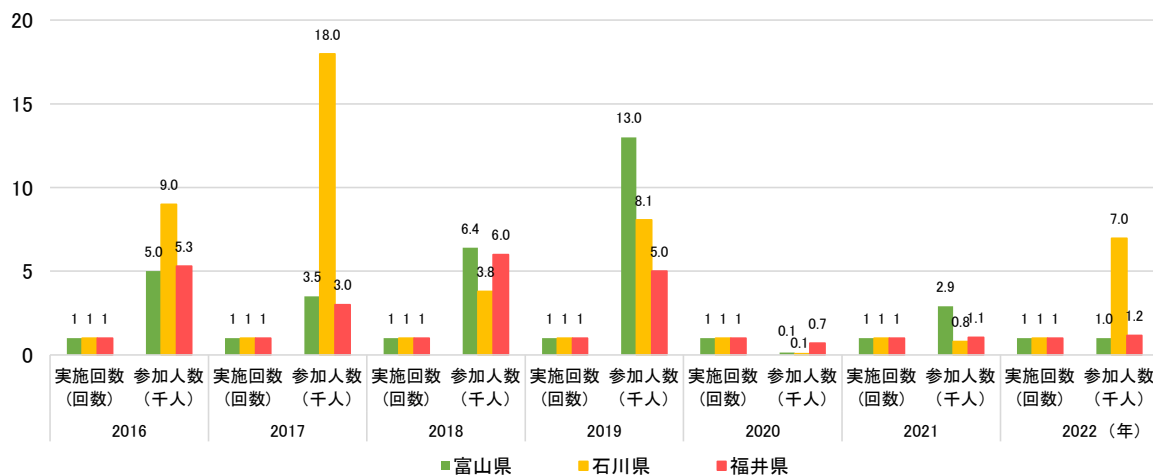
(<https://www.city.fukui-sakai.lg.jp/anzen/bosai-bohan/bosai/yobo/fukuikensougou/bousaikunren2023.html>)

## (2) 計画の進捗状況

### ■モニタリング指標：広域的な防災訓練を実施した回数、参加人数の推移

北陸圏における広域的な防災訓練の実績は、下図の通りとなっている。また、2022年(令和4年)の実施状況は下記の通りとなっている。

- ・富山県では、小矢部市にて実施され、約1,000人が参加している。
- ・石川県では、川北町にて実施され、約6,970人が参加している。
- ・福井県では、勝山市にて実施され、約1,150人が参加している。



出典：北陸地方整備局「実施状況把握表」

図 49 広域的な防災訓練を実施した回数、参加人数の推移

(2023年12月末時点のデータ)

## 2.1.9 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト

本プロジェクトは、北陸圏の優れた地域資源及び北陸新幹線の開業等により充実する広域交通ネットワークを最大限活用し、国内外観光客の増加による地域活性化を図るため、北陸の各地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり、国内外観光客の効果的な誘客拡大を推進することを目的としている。

### (1) 地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり

#### ① 地域資源を活かした観光拠点の形成

[継続的な取組み]

- 「立山・黒部」の世界文化遺産登録の推進【富山県】
  - ・世界文化遺産登録に向け、調査・研究等を実施
  - ・世界遺産登録推進シンポジウム開催
- 「城下町金沢の文化遺産群と文化的景観」の世界文化遺産登録の推進【石川県】
  - ・構成資産の理解を深める事業の実施
  - ・加賀藩主前田家墓所環境整備（H22～）
- 「霊峰白山と山麓の文化的景観」の世界文化遺産登録の推進【石川県】
  - ・構成資産の理解を深める事業の実施
  - ・白峰伝統的建造物群保存地区修理・修景（H29～）
- 【福井県】
  - ・構成資産の価値を高める事業の実施
- 恐竜溪谷 100 万人構想【福井県】
  - ・第 4 次恐竜化石発掘調査
- みなとオアシスの活動促進
  - ・ホームページ『北陸みなとオアシス』の管理・運営により、イベント等を周知
- クルーズ船の受入環境整備【北陸地方整備局】
  - ・金沢港(大野地区)国際物流ターミナル整備事業の推進
- 石川県都市公園の整備（金沢城公園）【石川県】
  - ・二の丸御殿の復元整備（調査・設計）
  - ・石垣の保全対策、復旧

#### ② 旅行者が何度も訪れたいくなる新たな観光形態の創出

[継続的な取組み]

- グリーンツーリズムの推進
  - 【富山県】
    - ・「とやま帰農塾」
  - 【石川県】
    - ・グリーンツーリズムの普及啓発
    - ・農家民宿開業講座の実施

- 若狭湾サイクリングルートの推進【福井県、敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、あおい町、若狭町、近畿地方整備局、福井県警、福井県サイクリング協会、JR 西日本、商工会議所・商工会、観光協会等】

### ③ 国内外観光客の利便性の向上に向けた受入環境づくり

[継続的な取組み]

- 観光情報の提供【石川県観光連盟】
  - ・観光客に対する情報提供の実施
- 手ぶら観光の推進【中部運輸局】
  - ・手ぶら観光カウンター数の増加及び手ぶら観光ネットワークの充実化に向け、自治体等に対し積極的な働きかけを行い、空港、鉄道駅、宿泊施設、商業施設等へのカウンターの設置を促進する。

## (2) 国内外観光客の戦略的な誘客拡大

### ① 多様な広域観光ルートの充実及びこれを支える広域交通基盤の強化

[継続的な取組み]

- サステナブルな観光コンテンツ強化事業【北陸信越運輸局】
  - ・サステナブルな観光コンテンツ強化事業において、石川にて体験型コンテンツを造成
- 北陸新幹線の対流促進効果最大化による北陸圏地域活性化プロジェクトの促進【中部運輸局】
- 東海北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道等や、富山高山連絡道路、金沢能登連絡道路等の高規格道路網の整備
  - 【中日本高速道路株式会社】
  - ・東海北陸自動車道 勝原 IC～九頭竜 SA 間の 9.5km が 4 車線化 (R5 年 10 月)
  - 【北陸地方整備局】
  - ・富山高山連絡道路 (猪谷楡原道路・大沢野富山南道路) の整備促進

■取組み事例 若狭湾サイクリングルートへの推進

継続的な取組み

【福井県、敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、あおい町、若狭町、近畿地方整備局、福井県警、福井県サイクリング協会、JR 西日本、商工会議所・商工会、観光協会等】

若狭湾サイクリングルート推進協議会は、嶺南地域におけるサイクリングルートの認知度向上および安全な走行環境を整備するとともに、サイクルツーリズムを推進することで、交流人口の増大など地域の活性化を目的としており、ルートのブランド化を目指しナショナルサイクルルート（NCR）指定に向けた事業全体の方向性を決定するために設立されている。

＜令和5年度の事業計画（福井県）＞

- ① 走行環境整備（路面標示・案内看板等の整備、小浜大飯高浜自転車道並走区間の再整備）
- ② 受入環境整備（サイクリングイベントの開催 等）
- ③ 情報発信（SNS や展示会等への出展などのプロモーション活動 等）

[矢羽根の整備]



[案内看板・注意看板の設置]

設置場所	分岐部	単路部	拠点施設	自転車道並走区間	
レイアウト					
サイズ	横15cm 縦45cm	横15cm 縦45cm	横45cm 縦150cm	横20cm 縦80cm	
注意喚起看板					
	自転車注意 BICYCLE	幅寄せ注意 ON THE SHOULDER	歩行者注意 PEDESTRIAN	勾配注意 STEEP HILL UP	勾配注意 STEEP HILL DOWN

[案内看板・注意看板の設置]



出典：若狭湾サイクリングルート推進協議会（令和5年度総会），若狭湾サイクリングルート推進協議会 (<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/soukai.html>)

■取組み事例 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり

新しい取組み

【高付加価値インバウンド観光地づくり北陸エリア準備会】

○「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」 【北陸エリア】 マスタープラン

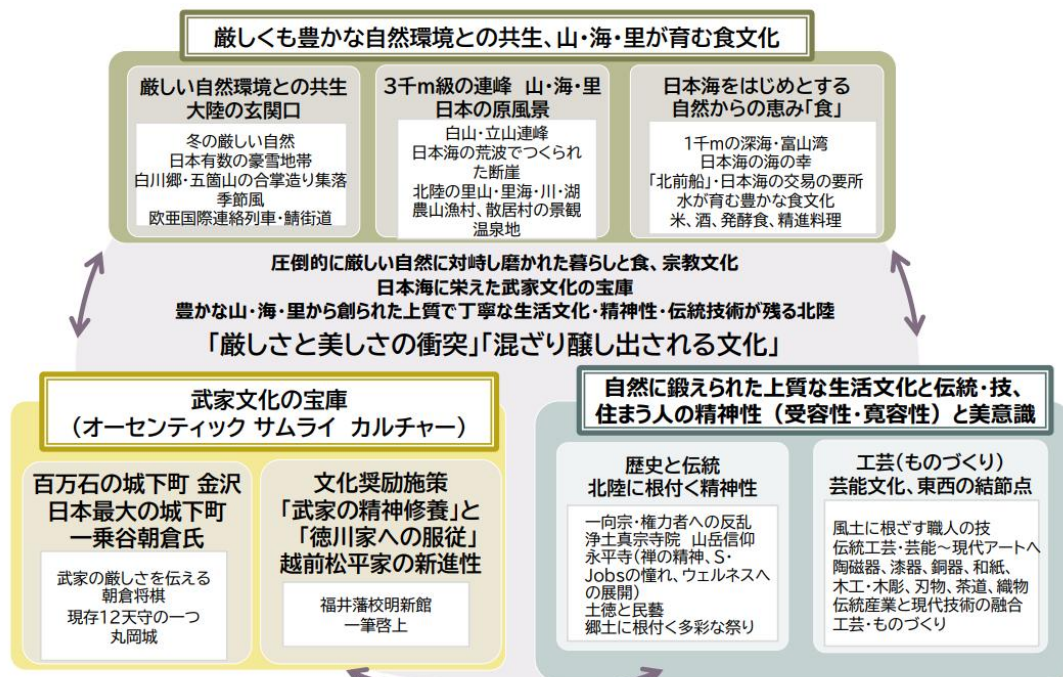
日本を訪れる高付加価値旅行者（富裕層）は、大都市圏への訪問が多数で、地方を訪れる旅行者は極めて少ないという現状から、地方への誘客が促進されている。

高付加価値旅行者の誘致は、地域の観光産業のみならず、多様な産業に経済効果が波及し、地域経済の活性化につながる。また、知的好奇心を伴う自然体験・文化消費を通じ、地域の自然、文化、産業等の維持・発展に貢献し、持続可能な地域の実現に寄与することが期待される。

〈北陸の主な課題〉

- ◆2019年の訪日外国人（全目的）消費単価は富山2.9万円/人、石川3.3万円/人、福井3.2万円/人と、全国平均を下回る。
- ◆食、歴史、伝統、文化、芸術アート、自然、武家文化などエリアの魅力を、長期滞在、消費拡大に向けた視点で活かしてきていない。
- ◆広域的に取組みを展開し、更なる長期滞在や、北陸エリア全体への送客に繋げていく必要がある。
- ◆高付加価値旅行者層が求める宿泊施設や事業者が不足している。

〈北陸のディステーションブランディング〉



出典：高付加価値なインバウンド観光地づくり モデル観光地 11 地域 マスタープラン（令和5年度末時点）、観光庁（[https://www.mlit.go.jp/kankochu/seisaku\\_seido/kihonkeikaku/inbound\\_kaifuku/kofukakachi.html](https://www.mlit.go.jp/kankochu/seisaku_seido/kihonkeikaku/inbound_kaifuku/kofukakachi.html)）

■取組み事例 サステナブルな観光コンテンツ強化事業【北陸信越運輸局】

継続的な取組み

○金沢能登広域でのサステナブル観光コンテンツ強化事業

サステナブルな観光を希望する訪日外国人旅行者をターゲットに、自然、文化、地域本来の生活（生業）といった豊富な地域資源の保全と活用の両立と、旅行者の新たなニーズに対応する基盤整備を行い、旅行観光消費額の増加や満足度向上につながる観光資源の磨き上げを図り、各地域での自立的・継続的な取組を促進することを目的とした事業。

令和5年度は金沢と能登の広域で推進された。金沢は前田家の藩政期から築かれてきた文化が浸透、能登地域は里山里海の豊かな自然を活用した暮らしの知恵、技術が継承されており、両地域での広域な長期滞在、消費機会の拡大・新たな価値の創出を目指した。



出典：サステナブルな観光コンテンツ強化事業, 北陸信越運輸局

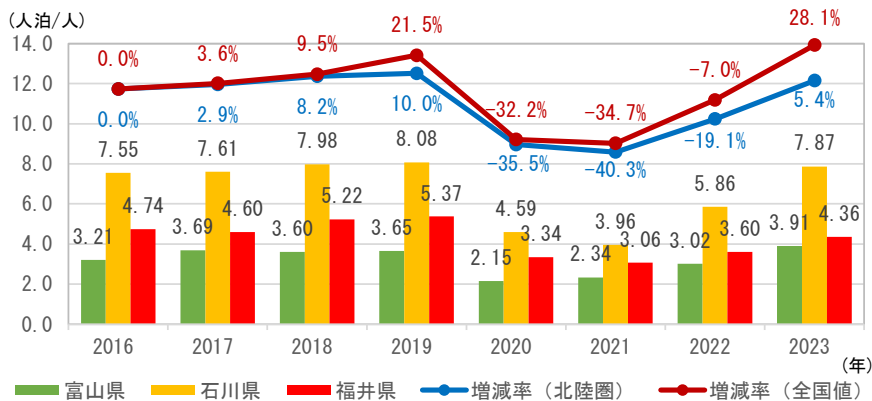
(<https://wwwtb.mlit.go.jp/hokushin/hrt54/sightseeing/sustainable.html>)

### (3) 計画の進捗状況

#### 1) 地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり

##### ■モニタリング指標：宿泊者数（人口1人あたり延べ宿泊者数）

北陸圏の2023年(令和5年)における人口1人あたり延べ宿泊者数は、2016年(平成28年)と比較して5.4%増加し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があった前年の2022年(令和4年)に対して大幅に増加している。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

図 50 宿泊者数（人口1人あたり延べ宿泊者数）の推移

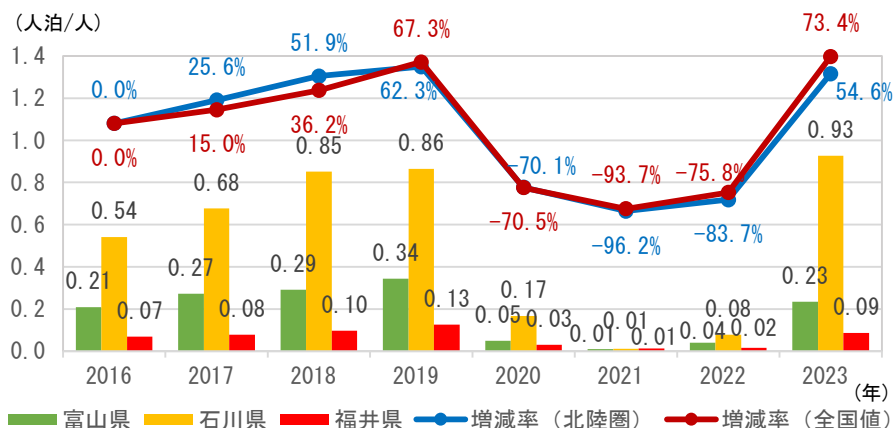
(2024年10月時点の公表データ)

#### 2) 国内外観光客の戦略的な誘客拡大

##### ■モニタリング指標：①宿泊者数（人口1人あたり延べ宿泊者数）※(1)と同じ指標のため省略

##### ■モニタリング指標：②外国人宿泊者数（人口1人あたり外国人延べ宿泊者数）

北陸圏の2023年(令和5年)における人口1人あたり外国人延べ宿泊者数は、2016年(平成28年)と比較して54.6%増加しており、2020年(令和2年)以降は新型コロナウイルス感染症拡大以前に近い数値に回復してきている。



※増減率は対2016年(平成28年)比であり北陸圏広域地方計画推進室にて試算

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」、総務省「人口推計」

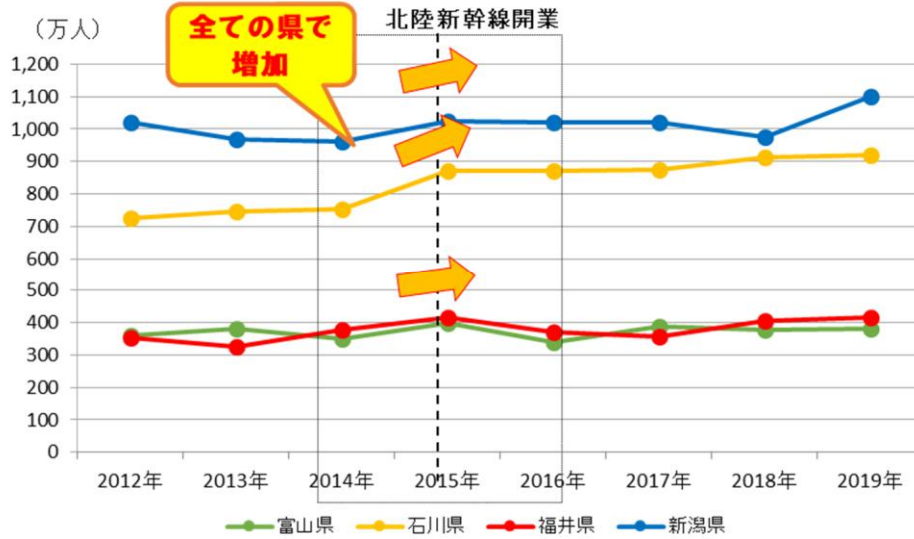
図 51 外国人宿泊者数（人口1人あたり外国人延べ宿泊者数）の推移

(2024年10月時点の公表データ)

参考：延べ宿泊者数の推移

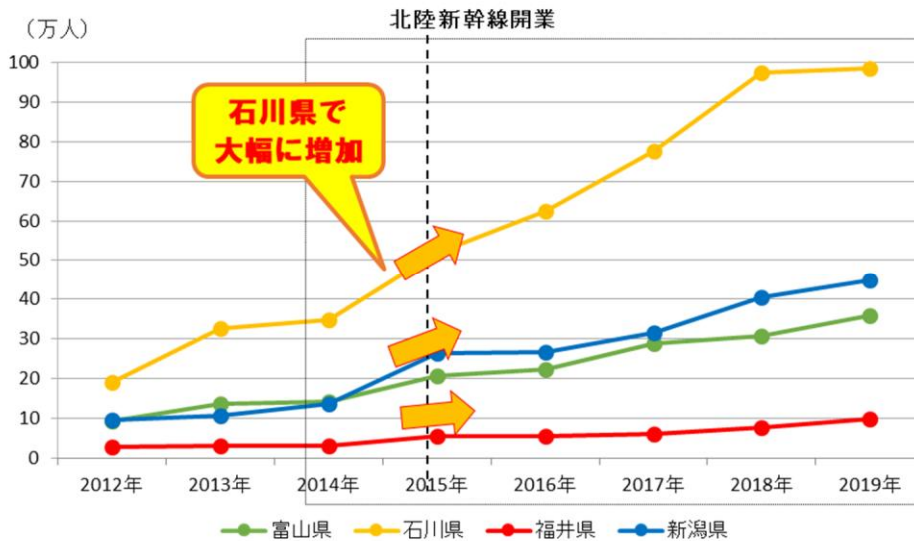
北陸新幹線開業後の日本人・外国人延べ宿泊者数は3県全てにおいて増加。特に石川県の外国人延べ宿泊者数が大幅に増加。

■日本人延べ宿泊者数の推移



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

■外国人延べ宿泊者数の推移



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

北陸圏広域地方計画の推進について  
令和5年度の実施  
令和7年〇月

北陸圏広域地方計画推進室  
〒950-8801 新潟市中央区美咲町 1-1-1  
TEL 025-280-8880(代表)